

# 第一次佐久市総合計画後期基本計画

## 策定基礎資料

---

---

人口動向		
1) 人口総数の動向	.....	1
2) 市内地区別人口・世帯数の変化動向	.....	2
3) 人口の年齢構成	.....	4
4) コーホート残存率	.....	6
5) 将来人口の推計	.....	7
6) 住宅の状況	.....	9
7) 年少者の動向	.....	11
8) 高齢者介護の動向	.....	13
土地利用動向		
1) 土地利用の構成	.....	14
2) 農地転用状況	.....	15
3) 土地利用規制の状況	.....	16
産業構造		
1) 産業構造特性	.....	18
2) 農業の状況	.....	23
3) 工業の状況	.....	25
4) 商業の状況	.....	29
5) 観光の状況	.....	41
財政状況		
1) 財政状況	.....	43

---

---

# 人口動向

## 1) 人口総数の動向

佐久市（現市域）の人口は、戦後、昭和 45 年を底にして以後平成 17 年国勢調査まで増加を続けてきた。しかし、毎年の住民基本台帳人口の推移をみると、平成 17 年から減少に転じており、平成 22 年 4 月 1 日現在の人口は 100,951 人となっている。（平成 22 年国勢調査速報人口：100,575 人）

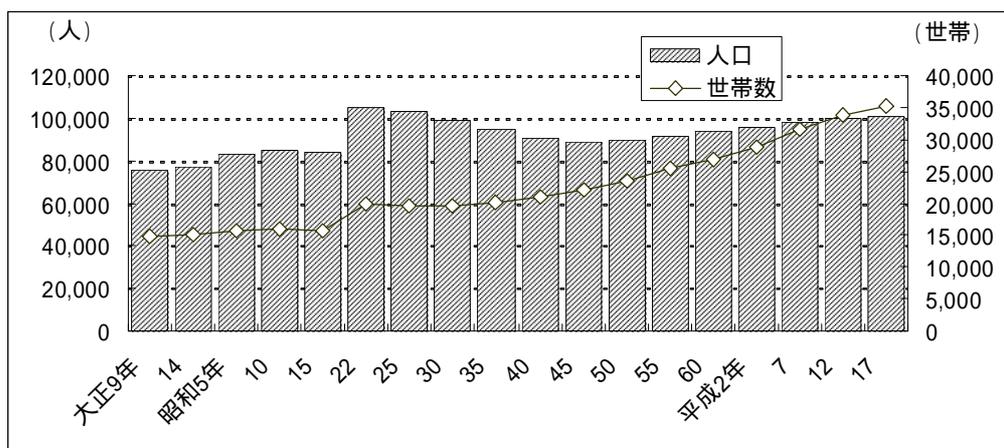
世帯数は、世帯あたり人員の減少に伴い、人口の頭打ちにもかかわらず増加を続けているが、その勢いは近年弱まっている。平成 22 年 4 月 1 日現在の世帯数は 38,555 世帯である。1 世帯あたりの平均人員は、平成 17 年時点で 2.84 人となっている。

[ 国勢調査人口・世帯数の推移 ] 各年10月1日現在(単位:世帯、人)

	人口			世帯数	1世帯あたり人口
	計	男	女		
大正9年	75,705	37,502	38,203	14,725	5.14
14	77,608	38,570	39,038	15,068	5.15
昭和5年	83,066	41,258	41,808	15,593	5.33
10	84,826	41,620	43,206	15,962	5.31
15	83,526	40,970	42,556	15,789	5.29
22	104,649	49,955	54,694	19,875	5.27
25	103,031	49,807	53,224	19,630	5.25
30	98,958	47,554	51,404	19,672	5.03
35	94,732	45,376	49,356	20,214	4.69
40	90,298	43,119	47,179	20,972	4.31
45	89,029	42,659	46,370	22,211	4.01
50	89,981	43,761	46,220	23,502	3.83
55	91,285	44,376	46,909	25,363	3.6
60	93,895	45,802	48,093	26,728	3.51
平成2年	95,625	46,801	48,824	28,759	3.33
7	97,813	47,832	49,981	31,483	3.11
12	100,016	48,948	51,068	33,836	2.96
17	100,462	49,041	51,421	35,362	2.84

注)平成 17 年 4 月 1 日市制施行(1 市 2 町 1 村合併)につき、資料:国勢調査  
合併前数値は、合併前市町村の合算値を表示した。

[ 国勢調査人口・世帯数の推移 ]



資料：国勢調査

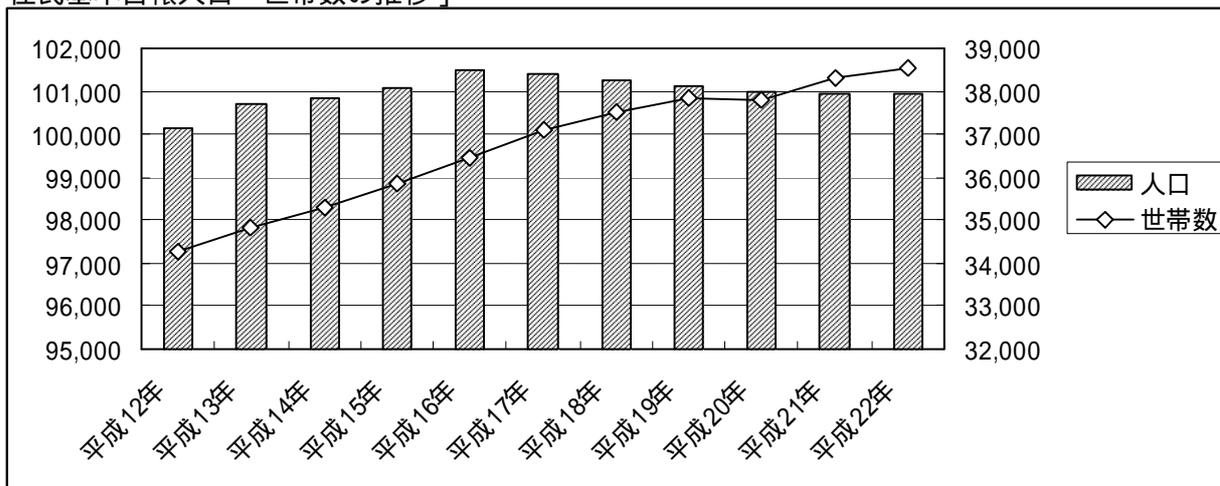
[ 住民基本台帳人口・世帯数の推移 ]

	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
人口	100,161	100,712	100,823	101,094	101,496	101,393	101,254	101,138	100,981	100,944	100,951
世帯数	34,249	34,819	35,278	35,847	36,431	37,122	37,535	37,829	37,816	38,299	38,555

注:各年4月1日現在

資料:佐久市統計書

[ 住民基本台帳人口・世帯数の推移 ]



注：各年4月1日現在

資料：佐久市統計書

2) 市内地区別人口・世帯数の変化動向

人口の市内分布は、旧佐久市が全体の7割近くを占めるが、その中では浅間地区の比重が最も多く、野沢、中込がこれに続いている。

近年の地区別人口動向では、増加を維持しているのは浅間地区のみで、年による変動はあるが、中込地区がほぼ横ばい、他の地区はむしろ減少傾向が顕著になりつつある。このことは、市の人口分布の重心が浅間地区のある北方向に徐々に移動していることを示しているといえる。白田、望月、浅科地区では、世帯数も停滞から減少が見られるようになっている。

[ 市内地区別人口・世帯数の推移 ]

人口総数	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
総数	100,161	100,712	100,823	101,094	101,496	101,393	101,254	101,138	100,981	100,944	100,951
浅間	25,408	25,656	25,985	26,233	26,618	26,761	27,161	27,411	27,582	27,938	28,202
野沢	18,291	18,419	18,418	18,535	18,723	18,661	18,529	18,522	18,413	18,454	18,420
中込	15,692	15,797	15,759	15,827	15,810	15,761	15,704	15,614	15,635	15,610	15,639
東	7,072	7,170	7,262	7,295	7,289	7,364	7,362	7,391	7,360	7,324	7,301
白田	15,858	15,861	15,758	15,671	15,613	15,504	15,261	15,085	15,019	14,884	14,765
浅科	6,802	6,852	6,804	6,744	6,744	6,731	6,741	6,774	6,757	6,669	6,635
望月	11,038	10,957	10,837	10,789	10,699	10,611	10,496	10,341	10,215	10,065	9,989
世帯数	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
総数	34,249	34,819	35,278	35,847	36,431	37,122	37,535	37,829	37,816	38,299	38,555
浅間	9,078	9,219	9,421	9,651	9,912	10,053	10,293	10,476	10,566	10,849	10,987
野沢	6,084	6,210	6,311	6,434	6,541	6,578	6,647	6,696	6,670	6,802	6,821
中込	5,792	5,884	5,906	5,964	6,041	6,070	6,095	6,115	6,098	6,138	6,211
東	2,266	2,360	2,460	2,517	2,542	2,600	2,622	2,668	2,645	2,660	2,672
白田	5,243	5,315	5,344	5,395	5,435	5,803	5,786	5,764	5,785	5,795	5,786
浅科	2,212	2,255	2,270	2,282	2,318	2,362	2,426	2,467	2,450	2,459	2,454
望月	3,574	3,576	3,566	3,604	3,642	3,656	3,666	3,643	3,602	3,596	3,624

注：各年4月1日現在(住民基本台帳世帯数+外国人登録世帯数)

資料：佐久市統計

[ 市内地区別の人口・世帯数の増減率 ]

市内地区別 人口増減率(対前年比)

	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
総数	0.550	0.110	0.269	0.398	-0.101	-0.137	-0.115	-0.155	-0.037	0.007
浅間	0.976	1.282	0.954	1.468	0.537	1.495	0.920	0.624	1.291	0.945
野沢	0.700	-0.005	0.635	1.014	-0.331	-0.707	-0.038	-0.588	0.223	-0.184
中込	0.669	-0.241	0.431	-0.107	-0.310	-0.362	-0.573	0.134	-0.160	0.186
東	1.386	1.283	0.454	-0.082	1.029	-0.027	0.394	-0.419	-0.489	-0.314
白田	0.019	-0.649	-0.552	-0.370	-0.698	-1.567	-1.153	-0.438	-0.899	-0.800
浅科	0.735	-0.701	-0.882	0.000	-0.193	0.149	0.490	-0.251	-1.302	-0.510
望月	-0.734	-1.095	-0.443	-0.834	-0.823	-1.084	-1.477	-1.218	-1.468	-0.755

注：各年4月1日現在 (住民基本台帳世帯数+外国人登録世帯数)

資料：佐久市統計書

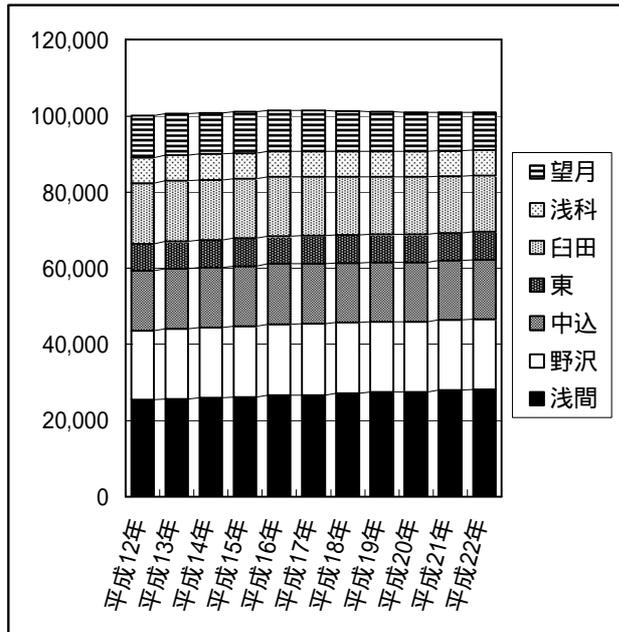
市内地区別 世帯数増減率(対前年比)

	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
総数	1.664	1.318	1.613	1.629	1.897	1.113	0.783	-0.034	1.277	0.668
浅間	1.553	2.191	2.441	2.704	1.423	2.387	1.778	0.859	2.678	1.272
野沢	2.071	1.626	1.949	1.663	0.566	1.049	0.737	-0.388	1.979	0.279
中込	1.588	0.374	0.982	1.291	0.480	0.412	0.328	-0.278	0.656	1.189
東	4.148	4.237	2.317	0.993	2.282	0.846	1.754	-0.862	0.567	0.451
白田	1.373	0.546	0.954	0.741	6.771	-0.293	-0.380	0.364	0.173	-0.155
浅科	1.944	0.665	0.529	1.578	1.898	2.710	1.690	-0.689	0.367	-0.203
望月	0.056	-0.280	1.066	1.054	0.384	0.274	-0.627	-1.125	-0.167	0.779

注:各年4月1日現在 (住民基本台帳世帯数+外国人登録世帯数)

資料:佐久市統計書

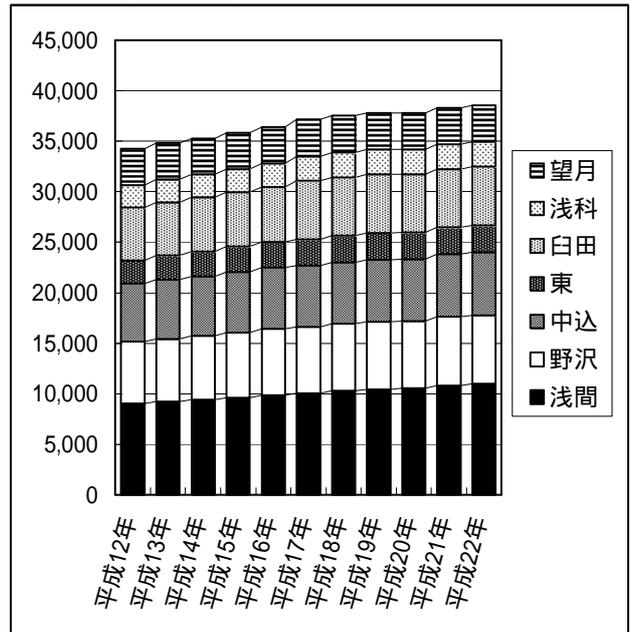
[ 市内地区別人口・世帯数の推移 ]  
(人口)



注:各年4月1日現在

資料:佐久市統計書

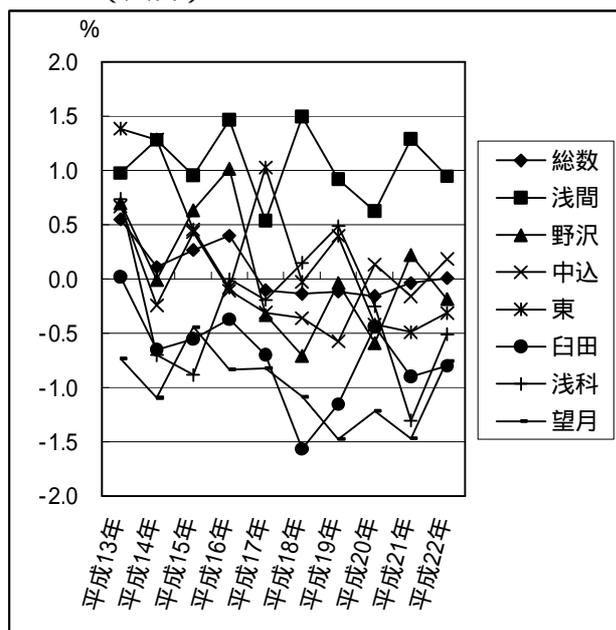
(世帯数)



注:各年4月1日現在

資料:佐久市統計書

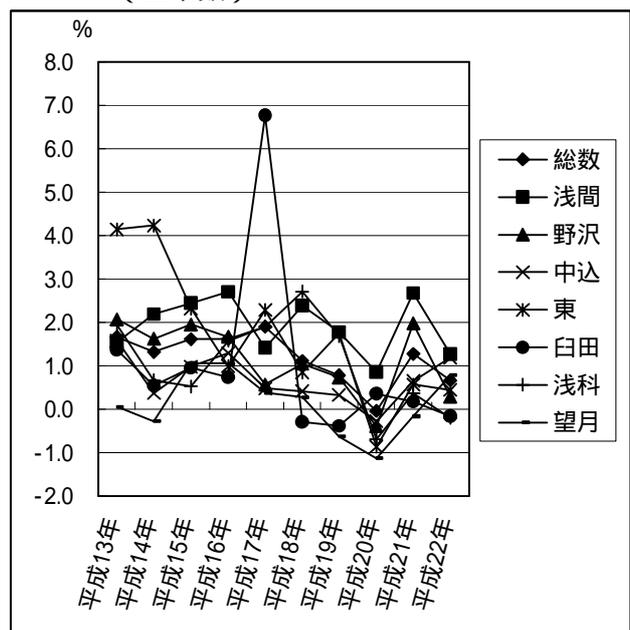
[ 市内地区別の人口・世帯数の増減率 ]  
(人口)



注:各年4月1日現在

資料:佐久市統計書

(世帯数)



注:各年4月1日現在

資料:佐久市統計書

### 3) 人口の年齢構成

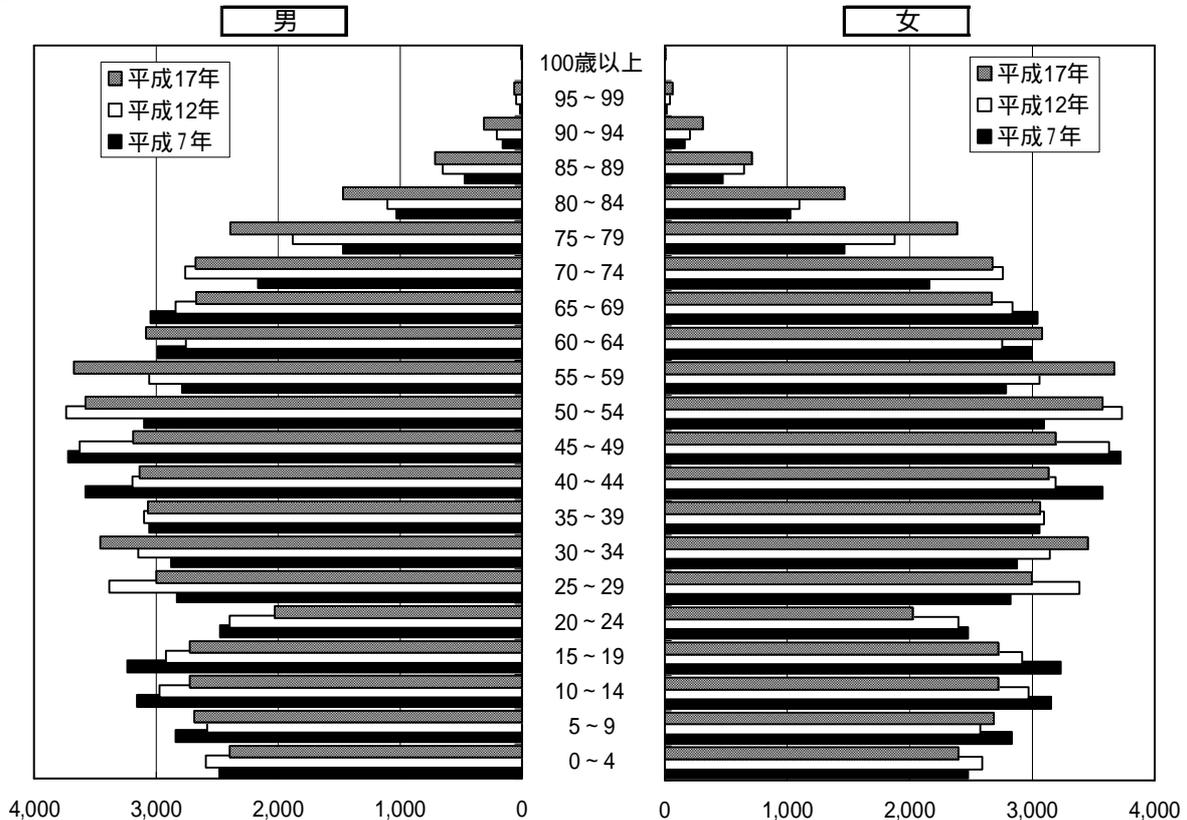
人口の年齢構成をみると、平成17年国勢調査時点で65歳以上の老年人口割合が24.3%に達しており、4人に一人が高齢者という構造で、これは周辺市や県平均、全国平均よりも若干高い値である。市内では、旧望月町の割合が特に高い。

[ 年齢5歳階級別・男女別人口の推移 ]

	平成7年			平成12年			平成17年		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
0～4	2,480	2,456	4,936	2,591	2,444	5,035	2,399	2,191	4,590
5～9	2,837	2,711	5,548	2,578	2,554	5,132	2,689	2,490	5,179
10～14	3,158	2,882	6,040	2,973	2,860	5,833	2,724	2,671	5,395
15～19	3,234	3,143	6,377	2,921	2,730	5,651	2,726	2,577	5,303
20～24	2,475	2,572	5,047	2,398	2,439	4,837	2,027	2,067	4,094
25～29	2,827	2,659	5,486	3,385	3,090	6,475	2,998	2,815	5,813
30～34	2,877	2,638	5,515	3,146	3,008	6,154	3,456	3,197	6,653
35～39	3,059	2,944	6,003	3,098	2,971	6,069	3,068	3,107	6,175
40～44	3,576	3,291	6,867	3,194	3,079	6,273	3,135	3,002	6,137
45～49	3,721	3,462	7,183	3,628	3,377	7,005	3,190	3,116	6,306
50～54	3,100	2,944	6,044	3,737	3,506	7,243	3,576	3,417	6,993
55～59	2,789	2,842	5,631	3,059	3,017	6,076	3,672	3,558	7,230
60～64	2,991	3,226	6,217	2,755	2,905	5,660	3,081	3,096	6,177
65～69	3,048	3,269	6,317	2,841	3,195	6,036	2,672	2,892	5,564
70～74	2,165	3,047	5,212	2,761	3,199	5,960	2,674	3,142	5,816
75～79	1,469	2,324	3,793	1,879	2,834	4,713	2,390	2,996	5,386
80～84	1,028	1,683	2,711	1,101	1,957	3,058	1,468	2,532	4,000
85～89	472	1,007	1,479	650	1,209	1,859	713	1,538	2,251
90～94	161	386	547	205	559	764	311	774	1,085
95～99	16	66	82	45	125	170	66	212	278
100歳以上	1	11	12	3	10	13	5	31	36
計	47,484	49,563	97,047	48,948	51,068	100,016	49,041	51,421	100,462

資料：国勢調査

[ 佐久市の人口ピラミッドの変化 ]



資料：国勢調査人口から作成

少子高齢化は年々進んでおり、人口ピラミッドの変化をみると、年少人口の減少、高齢者人口の増加により「釣り鐘型」の形状をより鮮明にしつつあることがわかる。

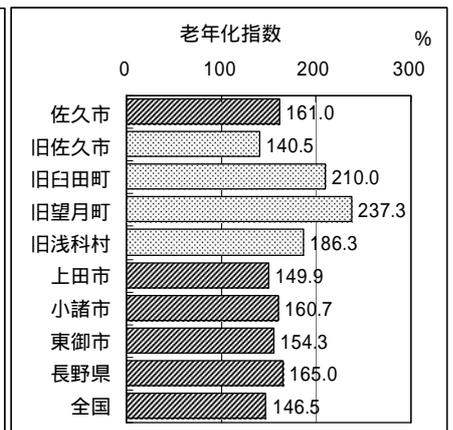
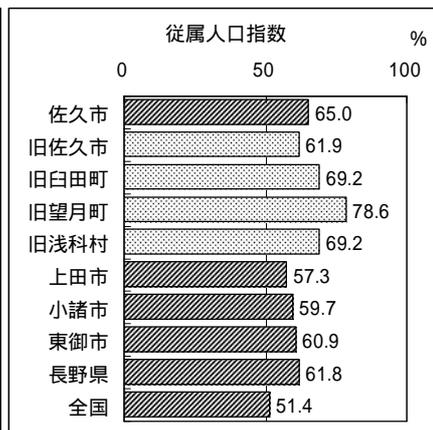
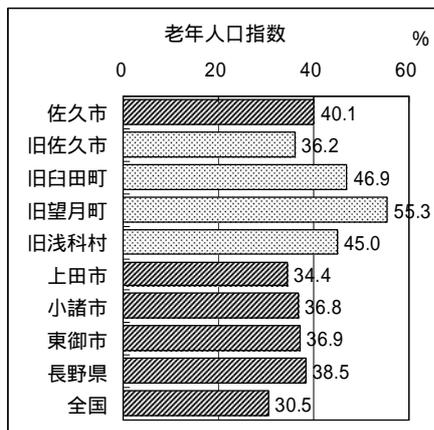
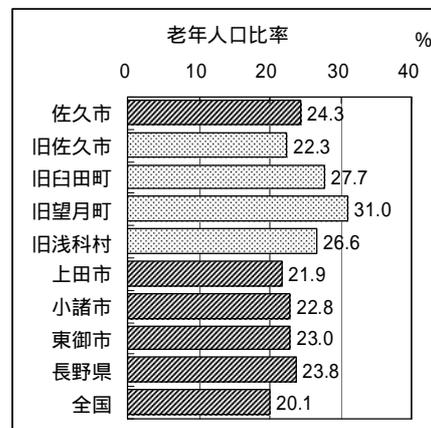
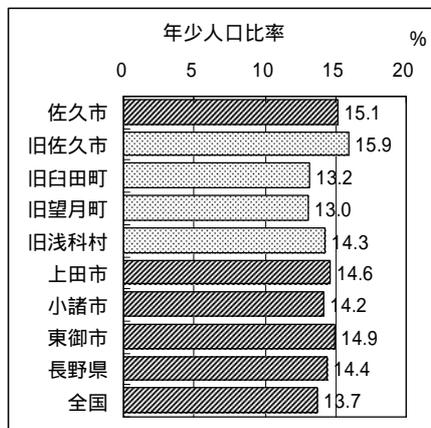
老年人口を生産年齢人口(15～64歳)で割った老年人口指数は平成17年で40.1で、生産年齢2.5人で一人の高齢者を支える構造である。この割合も周辺市や県平均等よりも若干高い。

[ 年齢3区分別人口と年齢構成各指数の比較 ]

	佐久市	旧佐久市	旧白田町	旧望月町	旧浅科村	上田市	小諸市	東御市	長野県	全国	
人口数	総人口	100,462	68,576	15,311	10,205	6,370	123,680	45,499	31,271	2,196,114	127,767,994
	0～14歳	15,164	10,903	2,020	1,331	910	18,036	6,453	4,653	316,368	17,521,234
	15～64歳	60,881	42,353	9,048	5,715	3,765	78,605	28,159	19,438	1,356,317	84,092,414
	65歳以上	24,416	15,319	4,243	3,159	1,695	27,033	10,368	7,180	521,984	25,672,005
年少人口比率	15.1	15.9	13.2	13.0	14.3	14.6	14.2	14.9	14.4	13.7	
老年人口比率	24.3	22.3	27.7	31.0	26.6	21.9	22.8	23.0	23.8	20.1	
老年人口指数	40.1	36.2	46.9	55.3	45.0	34.4	36.8	36.9	38.5	30.5	
従属人口指数	65.0	61.9	69.2	78.6	69.2	57.3	59.7	60.9	61.8	51.4	
老年化指数	161.0	140.5	210.0	237.3	186.3	149.9	160.7	154.3	165.0	146.5	

資料：平成17年国勢調査

[ 年齢構成の各指数の比較 ]



#### 4) コーホート残存率

一定の年齢階級の人口の集団をコーホートといい、その大きさの一定期間の推移を経た後との割合をコーホート残存率という。例えば、ある年の15～19歳の男子人口に対する5年後の20～24歳の人口の割合がコーホート残存率となる。

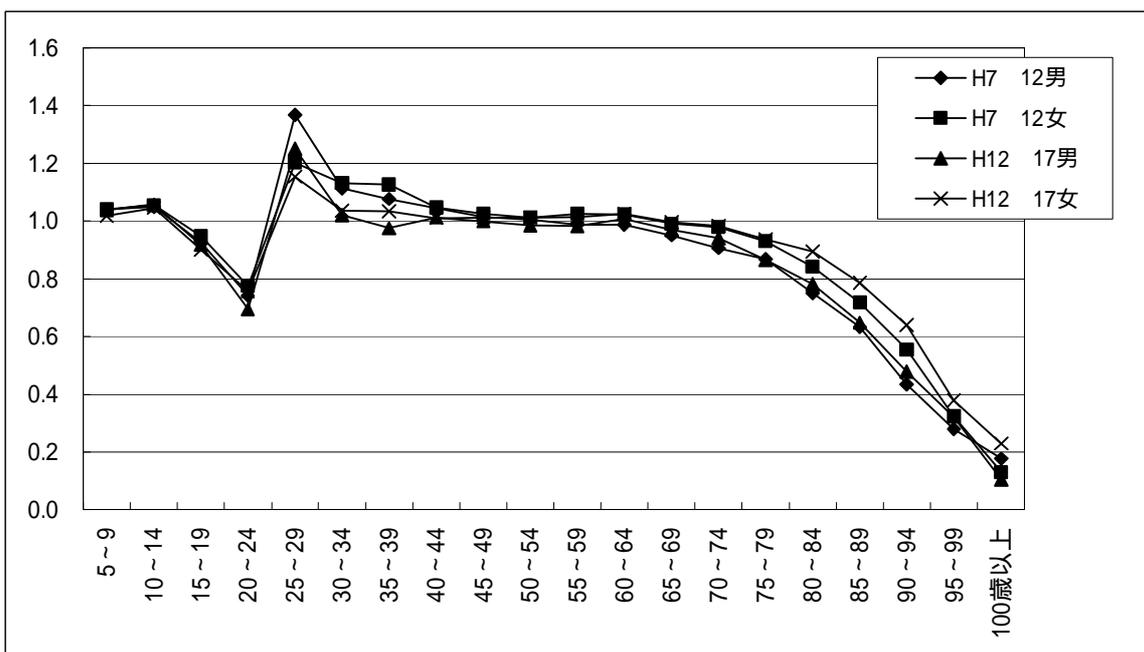
国勢調査から、佐久市の平成7～12年、12～17年の5歳階級別男女別のコーホート残存率を求め、そのグラフパターンを描くと、20歳前後で大幅な減少（転出超過による）を示し、25歳前後で増加（転入超過による）となる典型的な地方都市パターンを示すが、25歳前後での転入超過の度合いが、平成7～12年に比べ平成12～17年で弱まっている状況が観察できる。逆に、高齢の年齢層では男女ともに残存率が多少上方にシフトしているように見え、長寿化の状況が判読できる。

[ コーホート残存率 (佐久市) ]

		H7 12男	H7 12女	H12 17男	H12 17女
0～4	5～9	1.040	1.040	1.038	1.019
5～9	10～14	1.048	1.055	1.057	1.046
10～14	15～19	0.925	0.947	0.917	0.901
15～19	20～24	0.741	0.776	0.694	0.757
20～24	25～29	1.368	1.201	1.250	1.154
25～29	30～34	1.113	1.131	1.021	1.035
30～34	35～39	1.077	1.126	0.975	1.033
35～39	40～44	1.044	1.046	1.012	1.010
40～44	45～49	1.015	1.026	0.999	1.012
45～49	50～54	1.004	1.013	0.986	1.012
50～54	55～59	0.987	1.025	0.983	1.015
55～59	60～64	0.988	1.022	1.007	1.026
60～64	65～69	0.950	0.990	0.970	0.996
65～69	70～74	0.906	0.979	0.941	0.983
70～74	75～79	0.868	0.930	0.866	0.937
75～79	80～84	0.749	0.842	0.781	0.893
80～84	85～89	0.632	0.718	0.648	0.786
85～89	90～94	0.434	0.555	0.478	0.640
90～94	95～99	0.280	0.324	0.322	0.379
95歳以上	100歳以上	0.176	0.130	0.104	0.230

資料：国勢調査

[ コーホート残存率 (佐久市) ]



資料：国勢調査より作成

## 5) 将来人口の推計

(詳細は別資料参照)

上記の人口及びコーホート残存率のデータを用いて、佐久市の将来人口の推計をコーホート要因法で行った。(基準年は平成17(2005)年、国勢調査ベースの推計である。)

適用する社会移動率パターンにより、以下の3ケースの推計を行った。

ケース1：平成7(1995)～12(2000)年の社会移動率パターンを将来にわたり適用するケース

ケース2：平成12(2000)～17(2005)年の社会移動率パターンを将来にわたり適用するケース

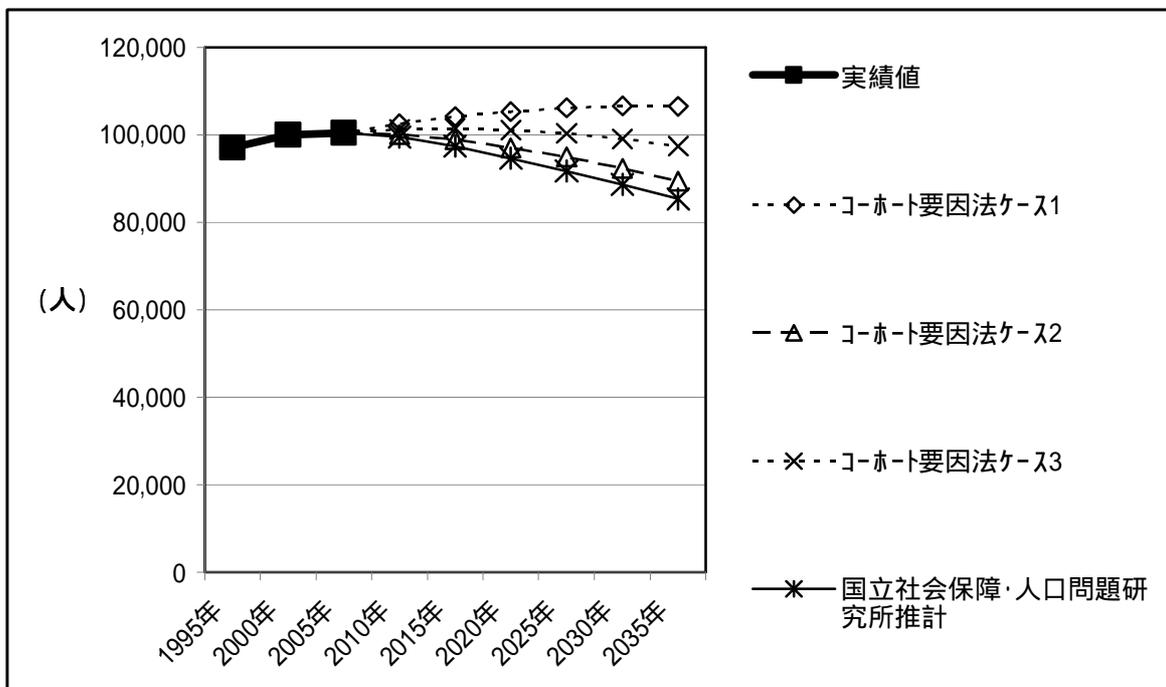
ケース3：平成7(1995)～12(2000)年と平成12(2000)～17(2005)年の平均の社会移動率パターンを将来にわたり適用するケース

この各ケースによる総人口の推計結果は以下のとおりである。ケース1では平成42年まで増加が続くが、ケース2では平成17年をピークに減少過程に入る。

総人口の推計結果

	実績値	コーホート要因法ケース1	コーホート要因法ケース2	コーホート要因法ケース3	国立社会保障・人口問題研究所推計
1995年 (平成7年)	97,047	97,047	97,047	97,047	97,047
2000年 (平成12年)	100,016	100,016	100,016	100,016	100,016
2005年 (平成17年)	100,462	100,462	100,462	100,462	100,462
2010年 (平成22年)		102,518	100,047	101,275	99,467
2015年 (平成27年)		104,130	98,879	101,443	97,372
2020年 (平成32年)		105,248	97,038	100,994	94,611
2025年 (平成37年)		106,148	94,902	100,262	91,670
2030年 (平成42年)		106,545	92,366	99,061	88,620
2035年 (平成47年)		106,527	89,336	97,384	85,296

総人口の推計結果



コーホート要因法ケース1：1995～2000年の社会移動率  
 コーホート要因法ケース2：2000～2005年の社会移動率  
 コーホート要因法ケース3：1995～2005年の社会移動率  
 国立社会保障・人口問題研究所推計：平成20年12月推計(H20.12.24公表)

住民基本台帳人口では、平成 17 年以降市人口は減少に転じており、平成 22 年現在で平成 17 年と比べて 400 人台程度の減少幅である。これに上記各ケースの結果を照らすと、最新の動向を用いたケース 2 の結果が、この動向に近く、かつ国立社会保障・人口問題研究所の市町村別推計による佐久市の推計値にも近く、最も妥当なケースと考えられる。これによると、平成 47 年には全市の人口は 9 万人を割り込むことになる。

旧市町村別の推計は、旧市町村別に同様の推計を行ったあと、性・年齢階級ごとに全市推計と合計が一致するような按分計算を行って算出した。ケース 2 によるこの結果を以下に示す。

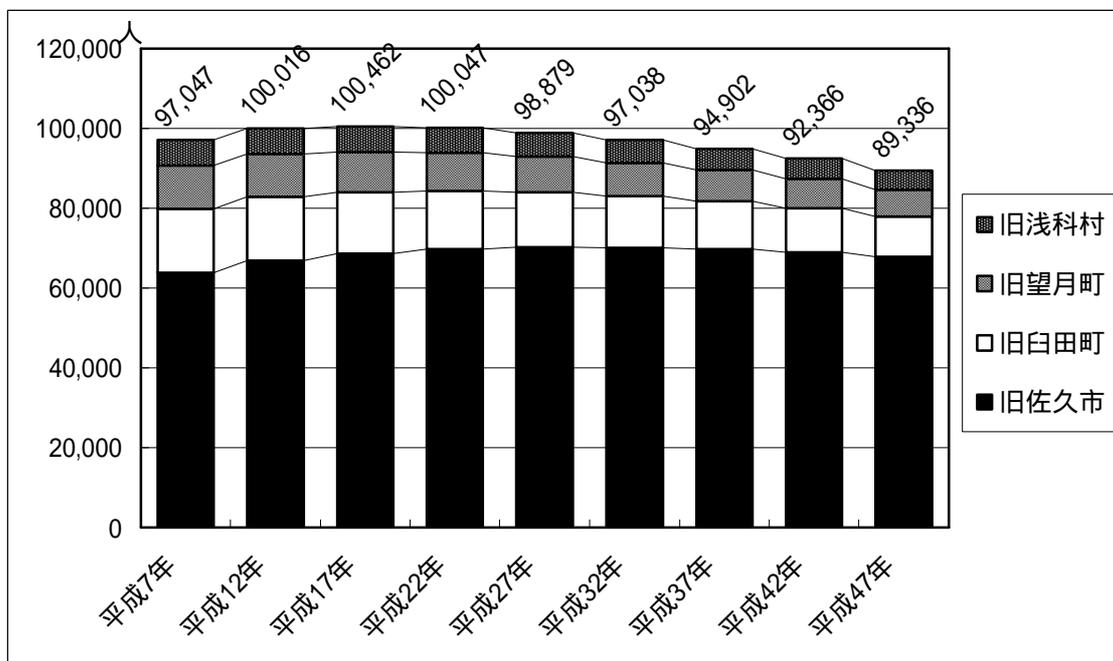
旧佐久市部分では、しばらく人口増加が続くが平成 32 年をピークに減少に転ずる予想である。旧白田町、望月町、浅科村の部分では、現状の減少傾向がさらに加速される予想となる。

[ ケース 2 による市内地区（旧市町村）別人口推計結果 ]

旧市町村別人口の推計結果

	旧佐久市	旧白田町	旧望月町	旧浅科村	全市
1995年 (平成7年)	63,736	16,039	10,855	6,417	97,047
2000年 (平成12年)	66,875	15,962	10,675	6,504	100,016
2005年 (平成17年)	68,576	15,311	10,205	6,370	100,462
2010年 (平成22年)	69,666	14,551	9,655	6,175	100,047
2015年 (平成27年)	70,145	13,739	9,046	5,949	98,879
2020年 (平成32年)	70,071	12,851	8,442	5,674	97,038
2025年 (平成37年)	69,712	11,950	7,861	5,379	94,902
2030年 (平成42年)	68,986	11,028	7,287	5,065	92,366
2035年 (平成47年)	67,856	10,072	6,692	4,716	89,336

旧市町村別人口の推計結果



## 6) 住宅の状況

世帯数のうち、住宅に住む一般世帯における「持ち家」の割合（持ち家率）は、平成17年国勢調査で74.5%であり、この値は県平均よりもやや高く、小諸市とほぼ同水準である。民間借家の割合は17.6%で県平均よりも低い。

住宅の居住水準を、平成17年国勢調査による世帯当たり・一人当たり延べ面積によって周辺市や県と比較してみる。1世帯当たり延べ面積は123.3㎡で、上田市、小諸市よりも広く、世帯当たり人員の違いを考慮して一人当たり延べ面積でも44.0㎡で、周辺市及び県平均よりも広い。住宅の広さには比較的恵まれているといえる。

1世帯当たり延べ面積は平成12年との比較ではやや縮小しているが、世帯当たり人員の縮小を反映して一人当たり延べ面積は逆に増加している。

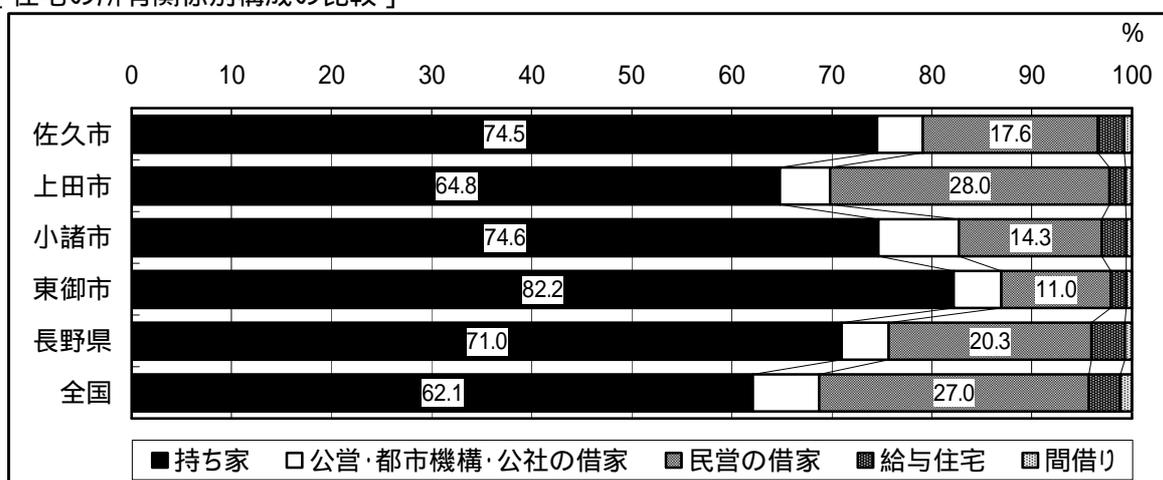
[住宅の所有関係別構成の比較]

単位:㎡,%

	佐久市	上田市	小諸市	東御市	長野県	全国
住宅に住む一般世帯数	34,778	46,316	15,536	10,123	764,245	48,168,309
持ち家	25,909	30,027	11,597	8,321	542,295	29,927,443
公営・都市機構・公社の借家	1,591	2,317	1,250	479	36,139	3,174,029
民間の借家	6,105	12,948	2,224	1,109	154,773	13,004,553
給与住宅	921	746	377	156	25,505	1,526,772
間借り	252	278	88	58	5,533	535,512
構成比 (%)						
持ち家	74.5	64.8	74.6	82.2	71.0	62.1
公営・都市機構・公社の借家	4.6	5.0	8.0	4.7	4.7	6.6
民間の借家	17.6	28.0	14.3	11.0	20.3	27.0
給与住宅	2.6	1.6	2.4	1.5	3.3	3.2
間借り	0.7	0.6	0.6	0.6	0.7	1.1

資料:平成17年国勢調査

[住宅の所有関係別構成の比較]



資料:平成17年国勢調査

[住宅の広さ指標の比較]

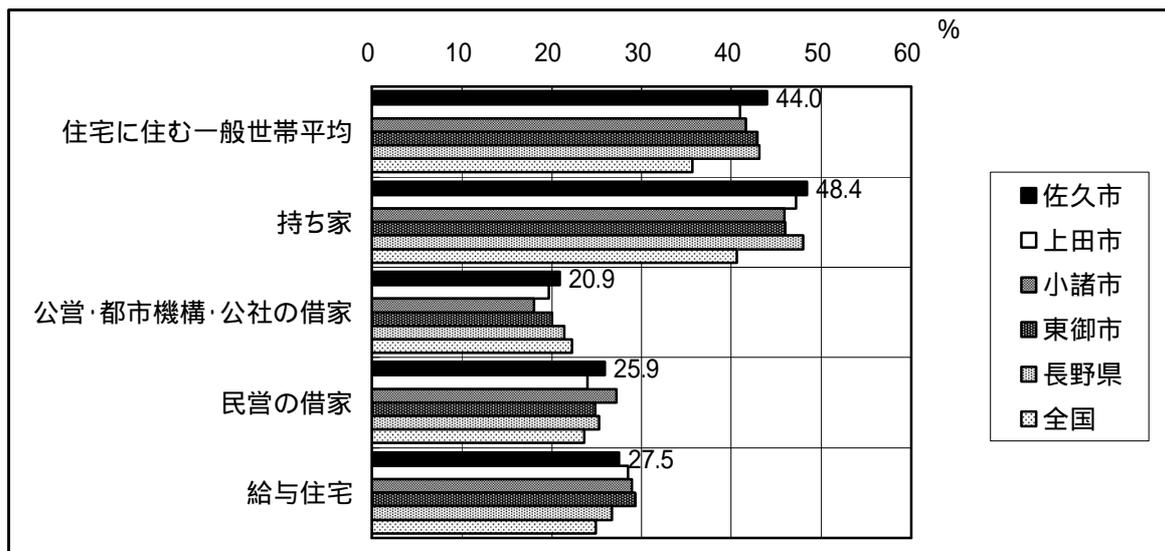
単位:㎡

	佐久市	上田市	小諸市	東御市	長野県	全国
1世帯当たり延べ面積	123.2	107.5	117.1	130.8	120.7	91.8
1人当たり延べ面積	44.0	41.0	41.6	42.9	43.1	35.7
持ち家	48.4	47.2	45.9	46.0	48.0	40.6
公営・都市機構・公社の借家	20.9	19.7	18.0	20.0	21.4	22.3
民間の借家	25.9	24.0	27.2	24.8	25.3	23.6
給与住宅	27.5	28.5	28.9	29.3	26.7	24.9

注)住宅に住む一般世帯の値

資料:平成17年国勢調査

[ 住宅の広さ指標の比較 ]



資料:平成17年国勢調査

[ 住宅の広さ指標の変化状況 ]

年次		単位: m <sup>2</sup>	
		平成12年	平成17年
1世帯当たり延べ面積		124.7	123.2
1人当たり延べ面積		42.5	44.0
	持ち家	46.6	48.4
	公営・都市機構・公社の借家	19.8	20.9
	民営の借家	24.8	25.9
	給与住宅	26.6	27.5

注)住宅に住む一般世帯の値

資料:平成17年国勢調査

## 7) 年少者の動向

市内学校の児童生徒数の動向をみると、中学校の生徒数は比較的安定しているように見えるが、小学校の児童数は長期的に減少傾向にある。高校はここ数年約 4,000 人前後を維持しているが、これも長期的には減少している。

[ 市内の小・中・高校の児童・生徒数の推移 ]

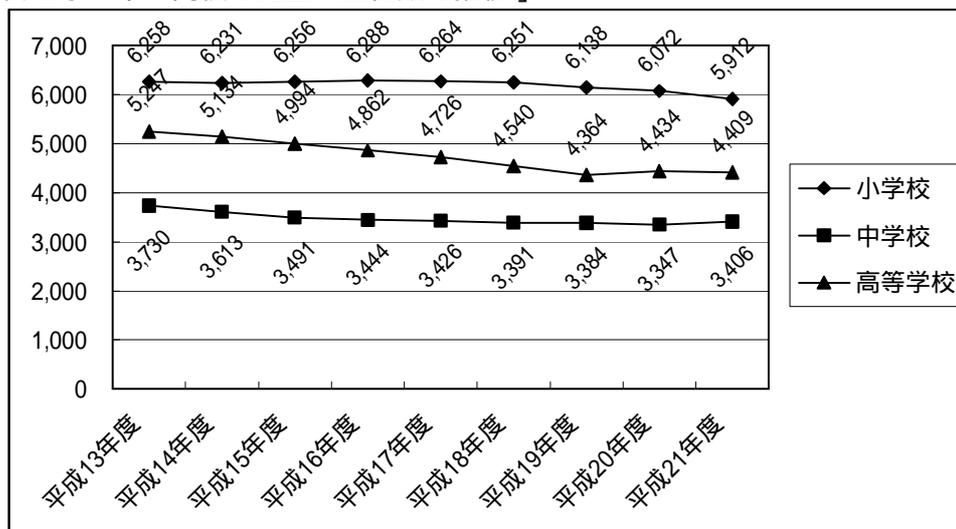
単位:校,人

	小学校		中学校		高等学校	
	学校数	児童数	学校数	生徒数	学校数	生徒数
平成13年度	19	6,258	8	3,730	7	5,247
14	19	6,231	8	3,613	8	5,134
15	19	6,256	8	3,491	8	4,994
16	19	6,288	8	3,444	8	4,862
17	19	6,264	8	3,426	8	4,726
18	19	6,251	8	3,391	8	4,540
19	19	6,138	8	3,384	8	4,364
20	16	6,072	8	3,347	8	4,434
21	16	5,912	8	3,406	8	4,409

各年度5月1日現在

資料:学校基本調査

[ 市内の小・中・高校の児童・生徒数の推移 ]



各年度5月1日現在

資料:学校基本調査

高校卒業者の半数以上が大学に進学しており、そのうちの県内進学率は 16.8% (平成 21 年) で、他は首都圏等の県外への進学であり、これが若年層の転出超過の大きな要因となっているとみられる。就職者では、県内就職者の割合が 9 割近くと高いが、そのうちの市内就職者は少ないという状況がある。

[ 進路別卒業生数 (市内高等学校) ]

	卒業生 総数	大学 進学者	専修学校 進学者*	就職者	無業者
平成11年	1,780	797	646	271	66
12	1,638	725	657	199	57
13	1,753	794	682	208	69
14	1,700	769	676	179	76
15	1,640	750	639	150	101
16	1,638	784	588	194	72
17	1,607	773	571	167	96
18	1,523	803	494	168	58
19	1,510	775	479	185	71
20	1,481	844	413	172	52
21	1,324	763	364	146	51

資料:学校基本調査

\*専修学校(専門課程)進学者及び専修学校(一般課程)等入学者

[ 大学等進学者数の進学先別内訳 (市内高等学校) ]

	計	男	女	県内	県内 進学率	県外	東京	埼玉	神奈川	群馬	山梨	千葉
佐久市	763	370	393	128	16.8	635	269	58	56	54	29	46

平成21年3月 資料: 学校基本調査

[ 市内高校卒業就職者の就職先別内訳 ]

年度	就職者数	県内 就職者数	県外 就職者数	県内 就職率	佐久市内 就職者数
H15	150	128	22	85.3	
H16	182	161	21	88.5	
H17	168	146	22	86.9	
H18	149	123	26	82.6	75
H19	178	159	19	89.3	76
H20	172	151	21	87.8	58

資料: 学校基本調査

注) 就職者には就職進学者も含まれる。

幼稚園の園児数は 800 人前後で推移しており、保育所の園児数は 2,300 人余であるが、少子高齢化の動向の中で長期的に減少傾向にある。

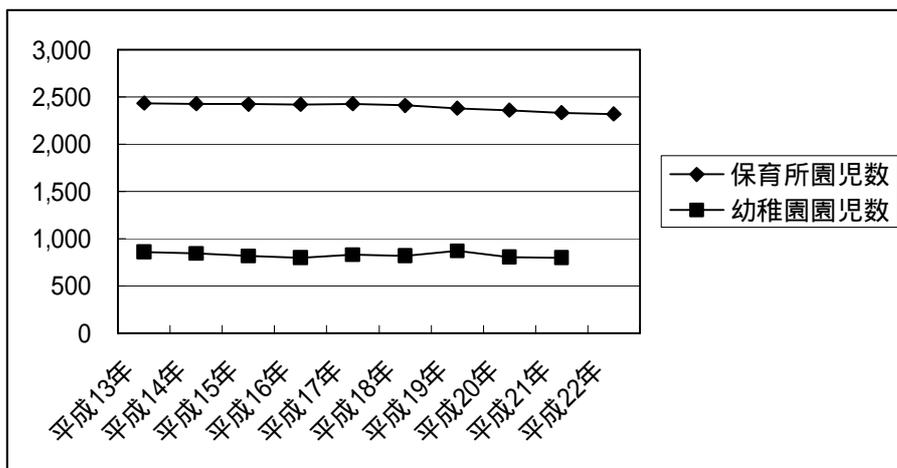
[ 保育所・幼稚園の園児数の推移 ]

(単位: 所、園、人)

	保育所						幼稚園	
	計		公立		私立		私立	
	保育所数	園児数	保育所数	園児数	保育所数	園児数	園数	園児数
平成13年度	28	2,432	20	1,519	8	913	5	859
14	28	2,426	20	1,515	8	911	5	842
15	28	2,422	20	1,500	8	922	6	815
16	28	2,420	20	1,497	8	923	6	797
17	28	2,424	20	1,493	8	931	6	829
18	28	2,410	20	1,447	8	963	6	819
19	27	2,379	19	1,456	8	923	6	869
20	27	2,357	19	1,407	8	950	6	804
21	27	2,331	19	1,368	8	963	6	796
22	27	2,317	19	1,360	8	957		

注) 各年度4月1日現在 各年度5月1日現在  
資料: 児童課 資料: 学校基本調査

[ 保育所・幼稚園の園児数の推移 ]



資料: 児童課、学校基本調査

## 8) 高齢者介護の動向

介護保険サービス給付の対象となる要支援・要介護認定高齢者等の数は、平成12年の制度スタート以来年々増加しており、平成21年度現在で4,200人を超えている。このうち、要介護3以上の認定者数が増えているように見える。

[ 介護保険要介護認定者数の推移 ]

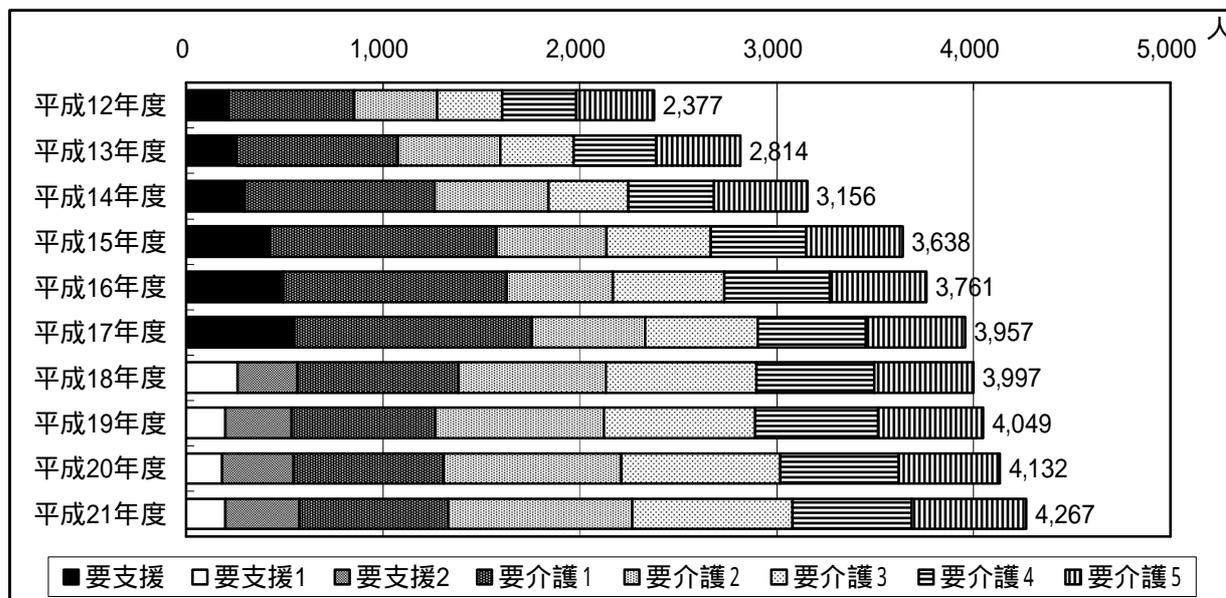
(単位:人)

年度	要支援	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
平成12年度	216			637	422	333	375	394	2,377
平成13年度	256			820	522	370	417	429	2,814
平成14年度	299			965	577	405	435	475	3,156
平成15年度	426			1,152	559	528	482	491	3,638
平成16年度	495			1,134	540	563	536	493	3,761
平成17年度	550			1,208	572	573	550	504	3,957
平成18年度		264	303	817	748	764	600	501	3,997
平成19年度		201	335	731	857	767	625	533	4,049
平成20年度		185	362	762	901	807	602	513	4,132
平成21年度		201	376	755	934	812	608	581	4,267

各年年度末現在

資料:長野県

[ 介護保険要介護認定者数の推移 ]



各年年度末現在

資料:長野県

# 土地利用動向

## 1) 土地利用の構成

市の総面積 423.99 km<sup>2</sup>のうち約4割が山林で、2割強が農地である。農地は田と畑がほぼ半分程度ずつを占めている。宅地は5.5%程度であるが、長期的に増加傾向にあり、その分、山林や田、畑の面積が減少傾向にある。

[ 地目別土地利用面積の構成推移 ]

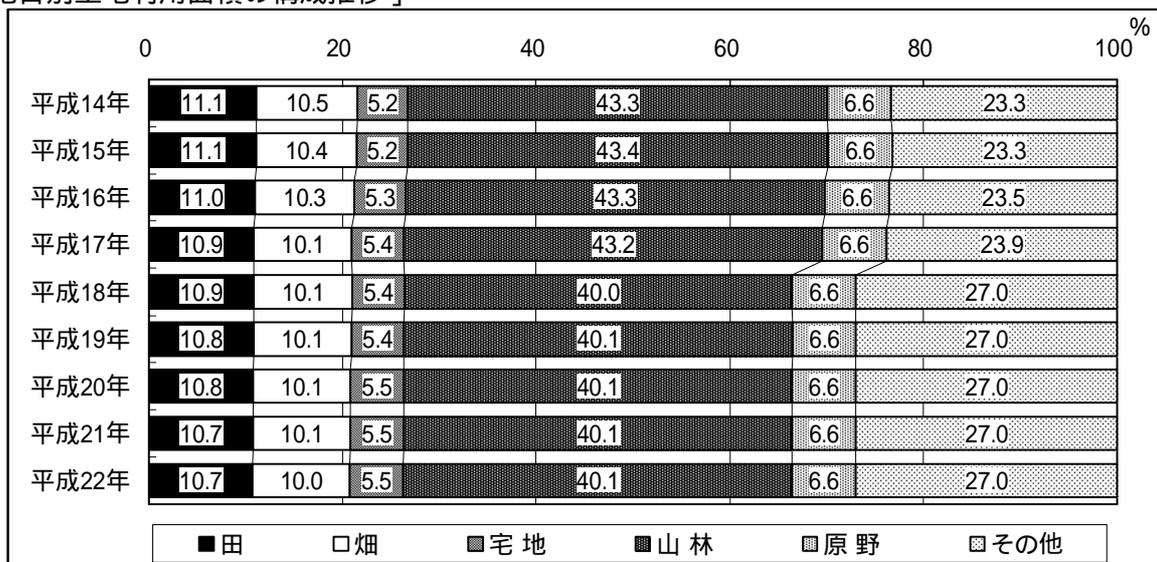
各年1月1日現在(単位:km<sup>2</sup>)

年次	総数	田	畑	宅地	山林	原野	その他
平成14年	423.99	47.147	44.307	21.960	183.657	27.977	98.942
平成15年	423.99	46.986	44.133	22.143	184.071	28.078	98.579
平成16年	423.99	46.442	43.482	22.526	183.711	28.025	99.804
平成17年	423.99	46.038	42.898	22.710	183.233	27.957	101.153
平成18年	423.99	46.090	43.031	22.856	169.659	27.871	114.483
平成19年	423.99	45.839	42.884	22.989	170.058	27.837	114.383
平成20年	423.99	45.698	42.712	23.129	170.039	27.834	114.578
平成21年	423.99	45.575	42.613	23.367	170.124	27.820	114.491
平成22年	423.99	45.456	42.529	23.508	170.116	27.822	114.559

注) 面積総数は国土地理院発表のもの。

資料: 税務課

[ 地目別土地利用面積の構成推移 ]



注) 面積総数は国土地理院発表のもの。

各年1月1日現在

資料: 税務課

## 2) 農地転用状況

市内の農地転用は、最近10年ほどの間、件数、面積ともに変動はあるものの減少傾向にあり、いわゆる開発圧力は鎮静化しつつあるとも見られる。特に、転用用途別では会社・工場への転用面積が減少している。この結果、近年では転用面積の半分以上が一般住宅への転用となっている。

また、田よりも畑の転用の方が面積が概ね多い傾向が続いている。

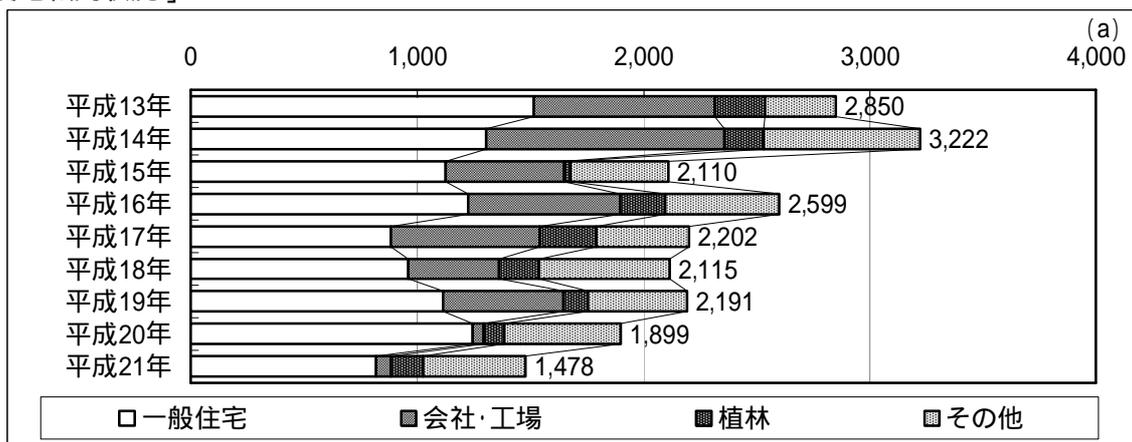
### [ 農地転用状況 ]

単位: 件、a

年次	件数	面積			転用用途別面積				
		計	田	畑	一般住宅	会社・工場	植林	その他	うち公共施設
平成13年	489	2,850	1,450	1,400	1,517	797	224	312	1,286
平成14年	533	3,222	1,614	1,608	1,306	1,051	174	691	440
平成15年	405	2,110	881	1,229	1,126	521	29	434	259
平成16年	448	2,599	861	1,738	1,225	670	201	503	0
平成17年	334	2,202	904	1,298	885	657	248	412	0
平成18年	340	2,115	763	1,352	961	400	177	577	
平成19年	319	2,191	1,044	1,147	1,113	533	109	436	
平成20年	304	1,899	934	965	1,244	50	92	513	
平成21年	272	1,478	501	977	818	65	144	451	

資料: 農業委員会

### [ 農地転用状況 ]



資料: 農業委員会

### 3) 土地利用規制の状況

都市計画により岩村田、中込原、中込、野沢、白田の各地区計 1,386ha に用途地域が指定されており、その内訳では、第一種住居地域の指定が 415ha と最も多くなっている。

用途地域指定面積のうち 65% が住居系、8% が商業系、27% が工業系となっている。

[用途地域指定状況]

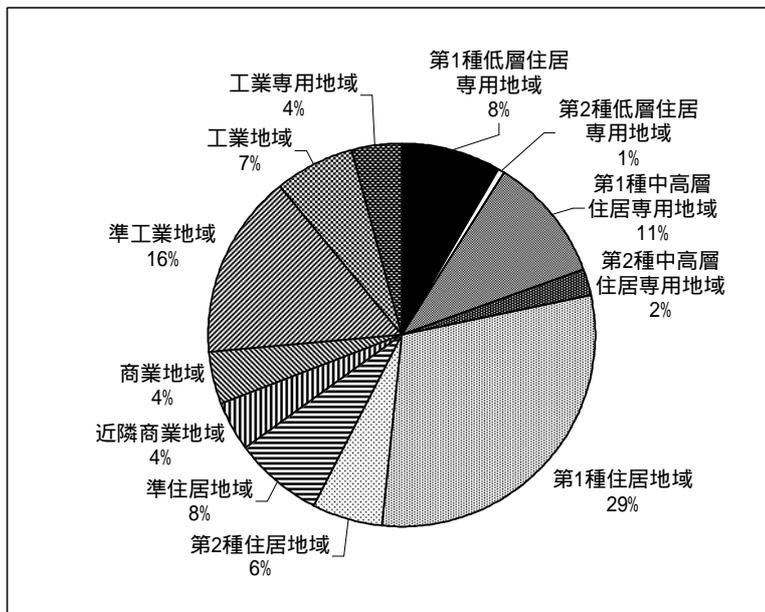
(単位:ha)

地区	計	岩村田	中込原	中込	野沢	白田
第1種低層住居専用地域	117	61	0	9	6	41
第2種低層住居専用地域	7	0	0	0	0	7
第1種中高層住居専用地域	146	78	0	16	21	31
第2種中高層住居専用地域	30	20	0	10	0	0
第1種住居地域	415	132	33	58	95	97
第2種住居地域	81	29	31	0	21	0
準住居地域	104	28	29	6	13	28
近隣商業地域	60	27	1	8	7	17
商業地域	59	29	5	19	4	2
準工業地域	216	121	36	18	12	29
工業地域	92	74	10	0	0	8
工業専用地域	59	0	59	0	0	0

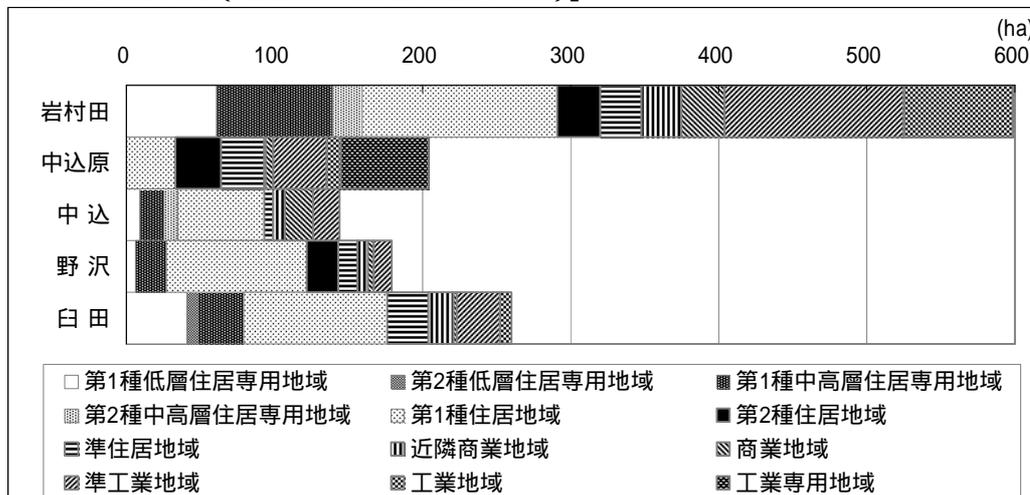
平成10年1月30日(決定年月日)

資料:都市計画課

[用途地域指定状況(指定用途別割合)]



[用途地域指定状況(地区別・指定用途別面積)]



平成10年1月30日(決定年月日)

資料:都市計画課

また、27,305ha が農業振興地域に指定され、うち 6,906ha が農用地区域であり、農業環境が守られている。農用地区域では田の割合が高い。

なお、土地利用規制力が弱い農振白地地域が多くあり、その面積は全市面積の半分近くを占める。

[ 農業振興地域面積 ]

	総面積	農用地計	農地計				採草放牧地	混牧林地	農業用施設用地	混牧林地以外の山林原野	その他
			田	畑	樹園地						
農業振興地域	27,305	7,994	7,853	4,470	1,746	1,637	141	0	38	13,446	5,827
農用地区域	6,906	6,855	6,714	4,176	1,373	1,165	141	0	34	17	0
農地(耕地)			6,088	4,043	880	1,165					
耕作放棄地			626	133	493	0					
農振白地地域	20,399	1,139	1,139	294	373	472	0	0	4	13,429	5,827
農地(耕地)			626	177	19	430					
耕作放棄地			513	117	354	42					
基盤整備済み	4,412	4,083	4,045	3,746	299	0	38	0	10	0	319
基盤整備未実施	22,893	3,911	3,808	724	1,447	1,637	103	0	28	13,446	5,508

平成21年12月現在 資料: 農振管理状況調査

[ 農業振興地域面積 ]



平成21年12月現在

資料: 農振管理状況調査

# 産業構造

## 1) 産業構造特性

佐久市の産業構造の特性を、まず国勢調査による就業者数の産業大分類別構成からみると、製造業及びサービス業（平成17年は区分が細分化）の比重が高く、さらに、卸売・小売業や農業、建設業等が大きな比重を占めている。就業者数全体が減少傾向にある中で、特に製造業や建設業などは農業とともにその数を減らしている状況にある。

[ 産業別就業者数の推移 ]

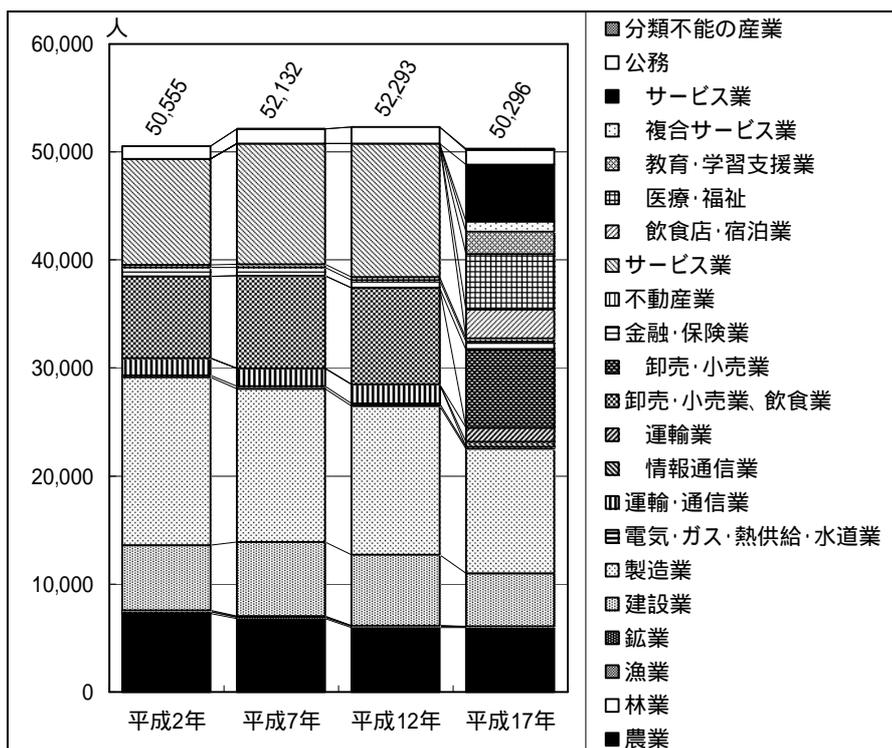
各年10月1日現在

産業大分類	総数(人)及び構成比(%)							
	平成2年		平成7年		平成12年		平成17年	
	就業者数	構成比%	就業者数	構成比%	就業者数	構成比%	就業者数	構成比%
総数	50,555	100.0	52,132	100.0	52,293	100.0	50,296	100.0
第1次産業	7,503	14.8	6,975	13.4	6,132	11.7	6,060	12.0
A 農業	7,292	14.4	6,836	13.1	6,024	11.5	5,956	11.8
B 林業	154	0.3	102	0.2	78	0.1	84	0.2
C 漁業	57	0.1	37	0.1	30	0.1	20	0.0
第2次産業	21,611	42.7	21,086	40.4	20,336	38.9	16,443	32.7
D 鉱業	58	0.1	78	0.1	50	0.1	26	0.1
E 建設業	6,030	11.9	6,856	13.2	6,551	12.5	4,951	9.8
F 製造業	15,523	30.7	14,152	27.1	13,735	26.3	11,466	22.8
第3次産業	21,441	42.4	24,071	46.2	25,825	49.4	27,793	55.3
G 電気・ガス・熱供給・水道業	205	0.4	237	0.5	253	0.5	220	0.4
H 運輸・通信業	1,585	3.1	1,662	3.2	1,782	3.4		
H 情報通信業							436	0.9
運輸業							1,303	2.6
卸売・小売業、飲食業	7,599	15.0	8,563	16.4	8,899	17.0		
J 卸売・小売業							7,235	14.4
J 金融・保険業	763	1.5	808	1.5	749	1.4	722	1.4
K 不動産業	257	0.5	232	0.4	244	0.5	327	0.7
L サービス業	9,803	19.4	11,189	21.5	12,382	23.7		
M 飲食店・宿泊業							2,659	5.3
N 医療・福祉							5,138	10.2
O 教育・学習支援業							2,026	4.0
P 複合サービス業							955	1.9
Q サービス業							5,298	10.5
M 公務	1,225	2.4	1,361	2.6	1,494	2.9	1,329	2.6
N 分類不能の産業	4	0.0	19	0.0	22	0.0	145	0.3

注)平成17年より産業分類が変更されている。

資料:国勢調査

[ 産業別就業者数の推移 ]



注)平成17年より産業分類が変更されている。

資料:国勢調査

この就業者数による産業構成を周辺市及び県や国の平均と比較すると、周辺市に対しては、「医療・福祉」の割合がやや高いほかは大きな特徴を見出せないが、長野県平均に対する産業別の特化係数を算出すると、漁業のほか、林業、医療・福祉、複合サービス業、建設業などの比重が相対的に高いことがわかる。全国平均に対しては、農業、林業、その他サービス業などへの特化が目立つ。

逆に、情報通信業や運輸業、金融・保険業は県や国の平均に対して相対的に特化度が低く、集積が比較的弱いとすることができる。

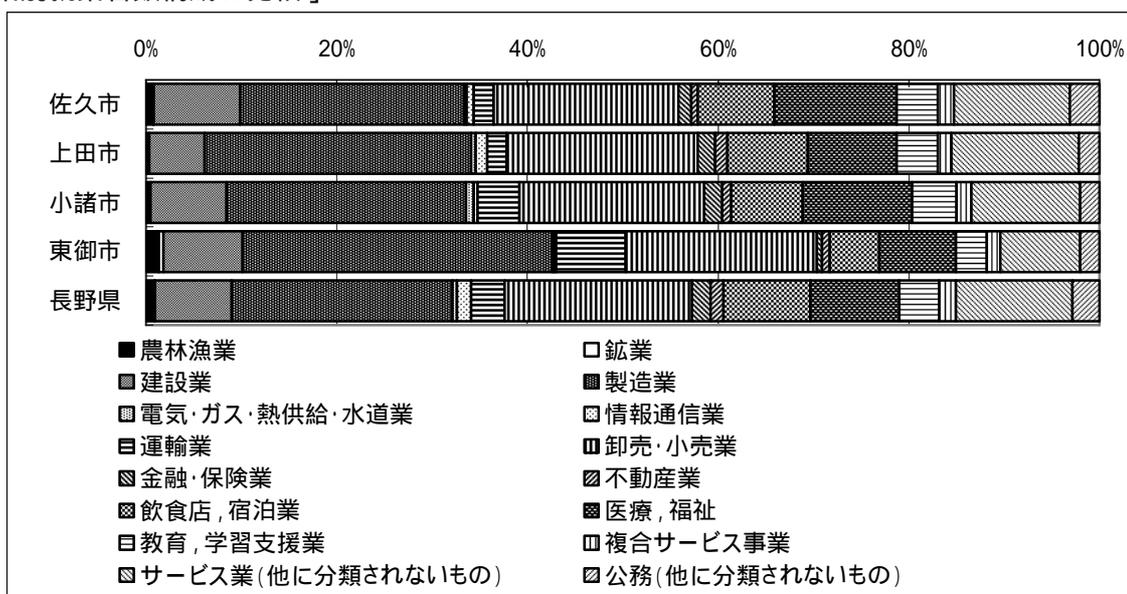
(特化係数 = 当該産業の佐久市の構成比 / 当該産業の県または全国の構成比)

[ 産業別就業者数構成の比較 ]

	産業大分類別就業者数構成比 (%)						佐久市の特化係数	
	佐久市	上田市	小諸市	東御市	長野県	全国	対長野県	対全国
農業	11.8	6.4	11.8	15.0	11.3	4.4	1.05	2.69
林業	0.2	0.0	0.1	0.0	0.1	0.1	1.25	2.20
漁業	0.0	0.0	-	0.0	0.0	0.4	1.57	0.11
鉱業	0.1	0.0	-	0.0	0.0	0.0	1.08	1.18
建設業	9.8	7.3	9.7	7.2	8.8	8.8	1.12	1.12
製造業	22.8	29.4	22.4	24.7	22.0	17.3	1.04	1.32
電気・ガス・熱供給・水道業	0.4	0.5	0.6	0.3	0.4	0.5	1.01	0.96
情報通信業	0.9	1.6	0.9	1.0	1.6	2.6	0.55	0.33
運輸業	2.6	2.9	3.4	4.0	3.5	5.1	0.74	0.51
卸売・小売業	14.4	17.5	15.9	15.9	15.6	17.9	0.92	0.80
金融・保険業	1.4	2.1	1.5	1.4	1.9	2.5	0.78	0.57
不動産業	0.7	0.8	0.7	0.4	0.6	1.4	1.00	0.47
飲食店、宿泊業	5.3	5.2	6.2	4.4	5.8	5.2	0.91	1.01
医療、福祉	10.2	8.0	7.9	7.6	8.4	8.7	1.22	1.17
教育、学習支援業	4.0	4.2	3.3	3.7	3.8	4.4	1.07	0.92
複合サービス事業	1.9	1.4	1.5	1.8	1.7	1.1	1.13	1.72
サービス業(他に分類されないもの)	10.5	10.1	11.4	10.2	11.0	14.3	0.96	0.73
公務(他に分類されないもの)	2.6	2.2	2.4	2.2	2.8	3.4	0.96	0.77
分類不能の産業	0.3	0.3	0.3	0.1	0.8	1.9	0.37	0.15

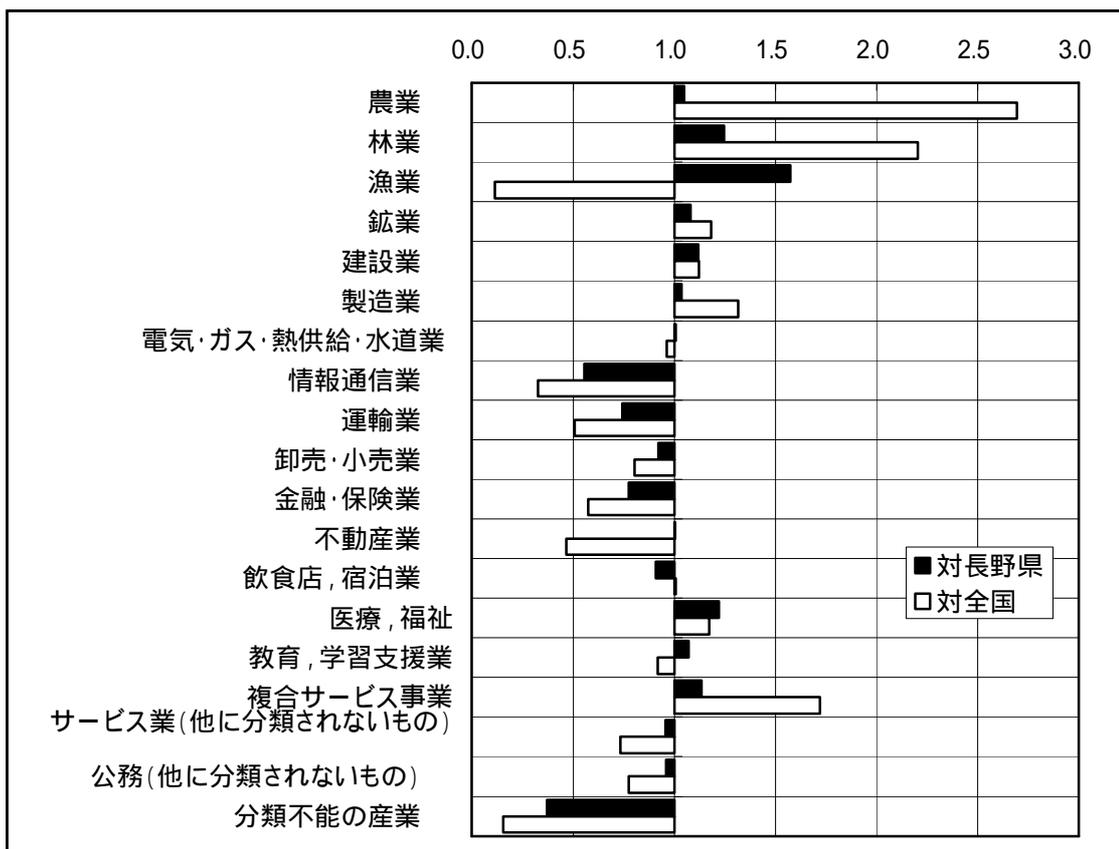
資料:平成17年国勢調査

[ 産業別就業者数構成の比較 ]



資料:平成18年事業所・企業統計

[ 産業別就業者数による特化係数 ]



資料:平成17年国勢調査

また、事業所・企業統計調査による事業所の観点からの産業構造でみると、事業所数では卸売・小売・飲食業の割合が最も高く、これにサービス業が続く構造である。事業所の従業者数では、卸売・小売・飲食業、サービス業、製造業が3大産業という位置付けになる。

ただし、卸売・小売・飲食業や製造業は、事業所数を近年大きく減らしており、また従業者数でもこの両産業のほか建設業でも減少が目立つ状況にある。この結果、相対的にサービス業の比重が高まる動向にある。

[ 事業所数・従業者数の構成の推移 ]

事業所数	単位:事業所					
	昭和56年	昭和61年	平成3年	平成8年	平成13年	平成18年
総数						
全産業	5,279	5,357	5,563	5,511	5,479	5,180
農業	17	15	11	10	22	21
林業	8	8	8	6	7	9
漁業	8	2	3	4	3	3
鉱業	20	14	5	7	5	2
建設業	726	723	783	826	797	728
製造業	769	797	860	717	624	581
電気・ガス・熱供給・水道業	10	11	13	10	12	8
運輸・通信業	97	104	100	104	115	87
卸売・小売業・飲食業	2,297	2,241	2,233	2,208	2,195	1,942
金融・保険業	50	68	71	82	70	63
不動産業	84	99	129	133	126	126
サービス業	1,135	1,216	1,286	1,348	1,446	1,557
公務	58	59	61	56	57	53

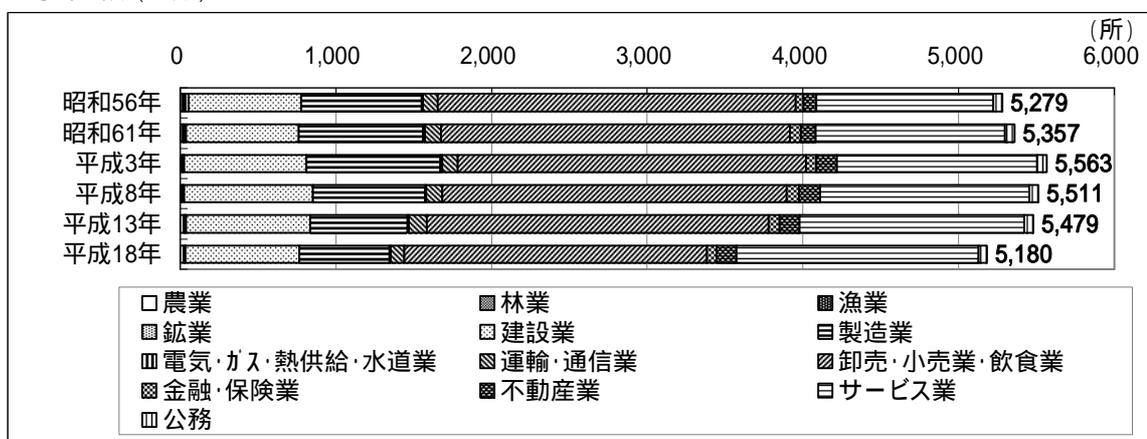
従業者数

単位:人

総数	昭和56年	昭和61年	平成3年	平成8年	平成13年	平成18年
全産業	38,658	39,690	44,533	44,514	45,046	44,401
農業	143	207	116	114	192	245
林業	135	119	86	51	43	65
漁業	26	6	12	29	26	27
鉱業	156	53	49	89	37	23
建設業	5,379	5,092	5,725	6,110	5,083	4,032
製造業	13,292	13,792	14,977	13,033	11,416	10,431
電気・ガス・熱供給・水道業	181	185	217	187	146	122
運輸・通信業	1,546	1,437	1,635	1,291	1,618	1,240
卸売・小売業・飲食業	8,490	8,313	9,747	10,776	12,749	11,627
金融・保険業	683	754	914	864	818	609
不動産業	199	303	329	309	333	307
サービス業	7,194	8,222	9,386	10,325	11,310	14,300
公務	1,234	1,207	1,340	1,336	1,275	1,373

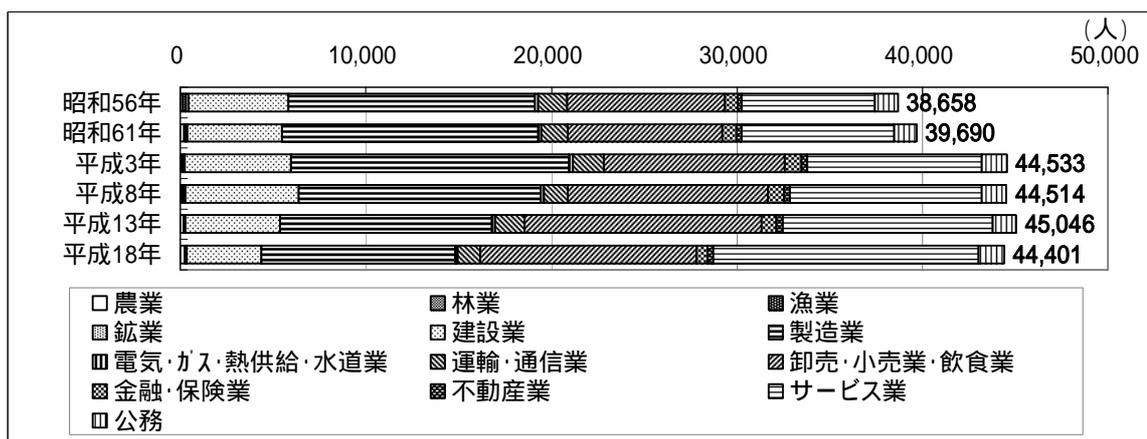
[ 事業所数・従業者数の構成の推移 ]

事業所数(総数)



資料:事業所・企業統計調査

従業者数(総数)



資料:事業所・企業統計調査

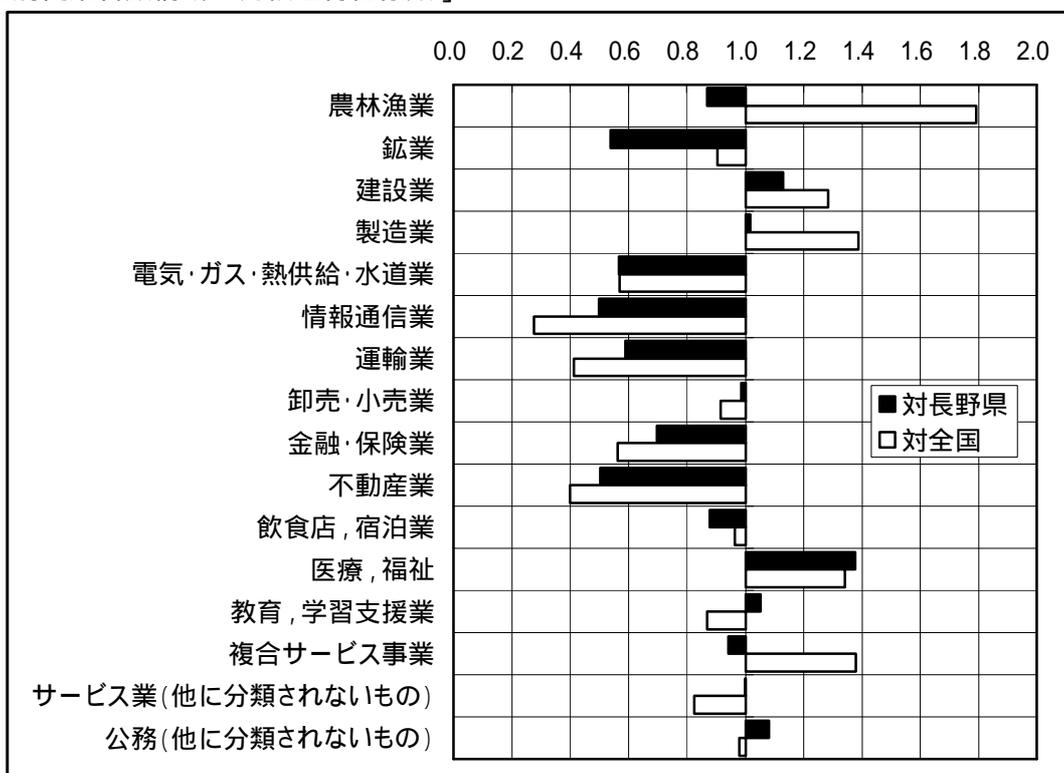
国勢調査による就業者数と同様に、事業所従業者数の産業別の特化係数をとってみると、長野県平均に対しては「医療・福祉」の係数が突出して高いことがわかる。全国平均に対しては、農林漁業や製造業、その他サービス業、医療・福祉等の比重が相対的に高くなっているが、概して、特化係数が1より小さい産業が多く、周辺市との各産業の構成比比較からみても、産業構造において目立った特徴が見出しにくい構造にあるともいえよう。

[ 産業別従業者数構成の比較と特化係数 ]

	産業大分類別就業者数構成比 (%)						佐久市の特化係数	
	佐久市	上田市	小諸市	東御市	長野県	全国	対長野県	対全国
農林漁業	0.8	0.4	0.5	1.3	0.9	0.4	0.87	1.79
非農林漁業	99.2	99.6	99.5	98.7	99.1	99.6	1.00	1.00
鉱業	0.1	0.0	-	0.5	0.1	0.1	0.54	0.91
建設業	9.1	5.8	8.0	8.3	8.0	7.1	1.13	1.28
製造業	23.5	27.9	25.1	32.4	23.1	16.9	1.02	1.39
電気・ガス・熱供給・水道業	0.3	0.5	0.9	0.2	0.5	0.5	0.57	0.57
情報通信業	0.7	1.2	0.4	0.2	1.5	2.7	0.50	0.27
運輸業	2.0	2.1	4.4	7.3	3.5	5.0	0.59	0.41
卸売・小売業	19.4	20.0	19.4	20.1	19.6	21.1	0.99	0.92
金融・保険業	1.4	1.8	1.9	0.5	2.0	2.4	0.70	0.56
不動産業	0.7	1.2	0.9	0.8	1.4	1.7	0.50	0.40
飲食店、宿泊業	8.0	8.5	7.5	5.2	9.1	8.3	0.88	0.96
医療、福祉	12.8	9.3	11.5	8.0	9.3	9.5	1.38	1.34
教育、学習支援業	4.4	4.3	4.7	3.3	4.1	5.0	1.05	0.87
複合サービス事業	1.7	1.4	1.5	1.4	1.8	1.2	0.94	1.38
サービス業(他に分類されないもの)	12.2	13.4	11.4	8.4	12.2	14.8	1.00	0.82
公務(他に分類されないもの)	3.1	2.2	2.0	2.0	2.9	3.2	1.08	0.98

資料:平成18年事業所・企業統計調査

[ 産業別従業者数構成の比較と特化係数 ]



資料:平成18年事業所・企業統計調査

## 2) 農業の状況

市内の農家数は、平成17年現在で8,446戸であるが、減少が著しく、昭和50年からの30年間で2/3近くにまで減少している。

農業就業人口の減少のテンポはさらに激しく、同じ30年間に半分以下にまで減少している。男女別では特に女性労働力の減少が激しく、また、市内各地区で同様に減少をみている。

### [ 農家数・農業就業人口の動向 ]

	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年
農家数(総農家)	12,666	12,361	12,081	11,721	10,727	10,026	9,237	8,446
農業就業人口	23,349	18,191	16,136	14,578	13,567	12,043	9,661	8,049
(販売農家)								
旧佐久市	12,818	9,848	8,896	7,940	7,457	6,523	5,476	4,547
旧白田町	3,700	2,747	2,512	2,353	2,200	1,974	1,448	1,171
旧望月町	4,622	3,896	3,274	2,968	2,621	2,282	1,806	1,514
旧浅科村	2,209	1,700	1,454	1,317	1,289	1,264	931	817
同上								
男	9,299	6,890	6,063	5,550	5,345	5,002	4,345	3,875
女	14,050	11,301	10,073	9,028	8,222	7,041	5,316	4,174

農業就業人口：農業従事者のうち、主に自営農業に従事した世帯員数

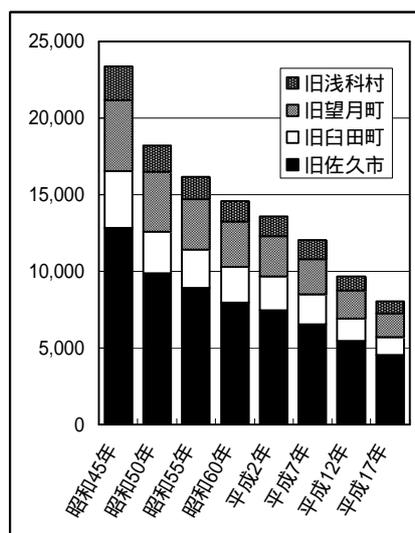
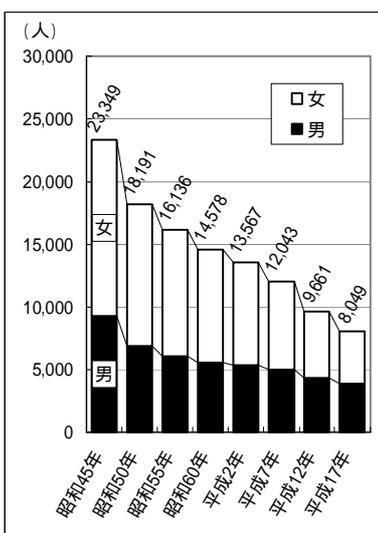
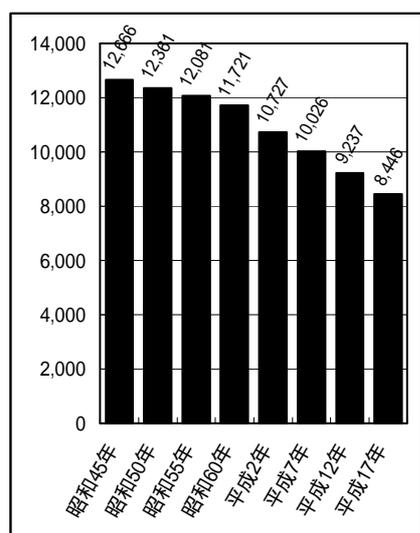
資料：農業センサス

### [ 農家数・農業就業人口の動向 ]

( 農家数 )

( 男女別農業就業人口 ( 男女別 ) )

( 農業就業人口 ( 旧市町村別 ) )



資料：農業センサス

佐久市の農業産出額は年間100億円強程度であるが、長期的に減少傾向にある。農業産出の内訳で最も大きな比重を占めるのが米で、これに、野菜、花きが続いている。

農業産出額の規模は、市域面積の広さにもかかわらず、小諸市や東御市の値を下回っており、相対的に農業の経済に占める比重が高いとはいえない。

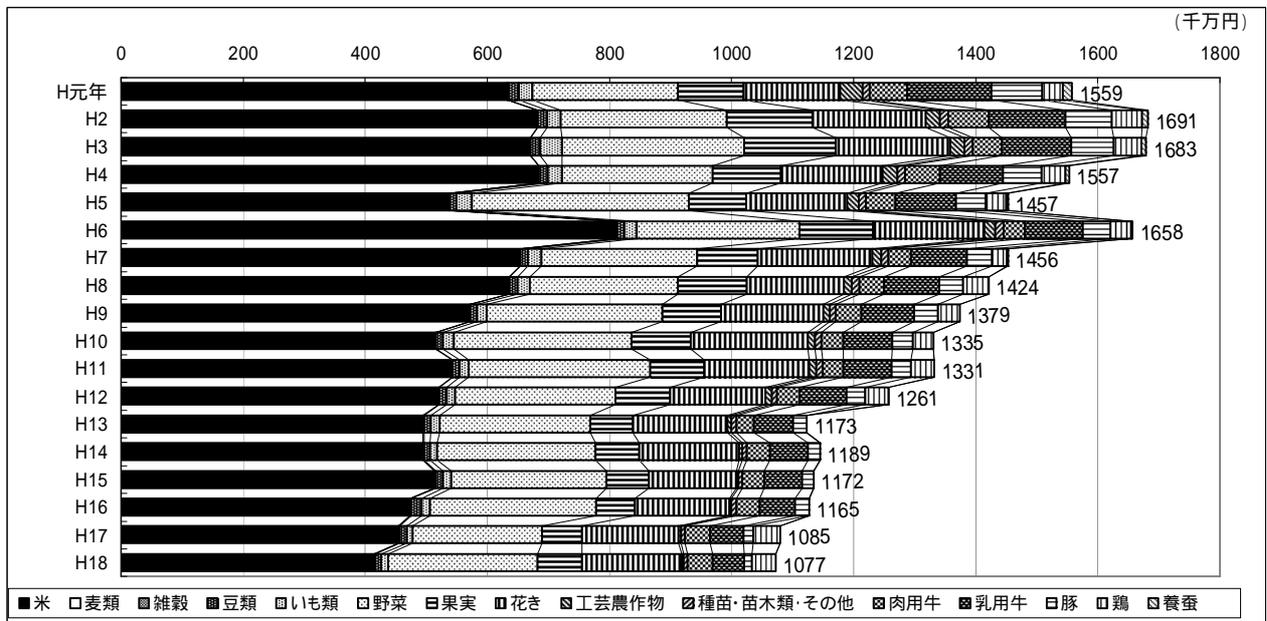
[ 農業産出額の動向 ]

単位:千円

	計	米	麦類	雑穀	豆類	いも類	野菜	果実	花き	工芸農作物	種苗・苗木類・その他	肉用牛	乳用牛	豚	鶏	養蚕
平成元年	1,559	632	2	0	17	23	238	108	158	36	12	62	138	83	34	15
2	1,691	682	0	0	16	22	272	140	186	23	14	66	126	76	49	10
3	1,683	670	0	0	17	35	299	150	187	23	14	48	113	70	45	8
4	1,557	685	0	0	14	23	247	112	167	24	12	57	104	63	39	6
5	1,457	538	0	0	11	26	355	94	165	19	12	48	99	49	34	3
6	1,658	812	0	0	12	21	267	119	183	18	14	34	95	45	34	3
7	1,456	654	0	0	12	22	256	99	187	15	12	37	92	41	24	2
8	1,424	636	0	0	14	19	243	113	159	13	12	41	90	39	42	0
9	1,379	571	0	0	12	16	288	96	167	11	10	42	86	39	36	0
10	1,335	515	0	0	12	18	291	97	192	12	10	36	80	34	34	0
11	1,331	543	0	0	12	14	298	88	172	12	10	34	79	32	38	0
12	1,261	521	0	0	12	14	263	89	157	10	8	37	77	31	38	0
13	1,173	494	0	2	11	15	247	69	155	7	8	29	64	22	0	0
14	1,189	494	0	2	10	11	260	72	163	5	8	38	62	20	0	0
15	1,172	514	0	2	11	14	254	69	144	3	7	35	62	19	0	0
16	1,165	474	0	2	16	14	272	63	155	4	8	38	58	23	0	0
17	1,085	455	0	2	11	10	212	65	158	4	6	42	55	15	45	
18	1,077	414	0	2	10	12	244	73	163	4	6	41	52	12	39	

「農業産出額」は、平成12年までは「農業粗生産額」と言われていた。  
 雑穀及び豆類は12年まで雑穀・豆類として合算されていたため、その値を豆類に表示している。  
 平成12年までは畜産計は養蚕を含まないが、日本標準産業分類の改訂により養蚕が畜産に分類されたことに伴い平成13年から畜産計に養蚕を含める。  
 なお、平成14年から養蚕はその他畜産物に含める。  
 資料:生産農業所得統計 長期累年統計

[ 農業産出額の動向 ]



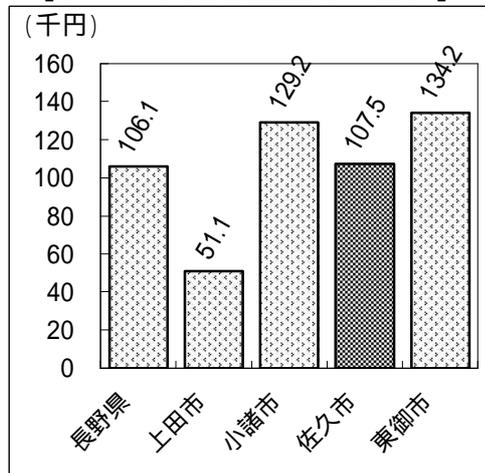
資料:生産農業所得統計 長期累年統計

[ 人口当たり農業産出額の比較 ]

	農業産出額 (千円)	人口あたり農業産出額 (千円)
長野県	23,220	106.1
上田市	834	51.1
小諸市	587	129.2
佐久市	1,077	107.5
東御市	421	134.2

資料:生産農業所得統計2006  
 「長野県の人口」H18年10月1日現在

[ 人口当たり農業産出額の比較 ]



資料:生産農業所得統計2006  
 「長野県の人口」H18年10月1日現在

## 2) 工業の状況

佐久市の製造業は、工場数、従業者数、製造品出荷額等とともに長期的に減少傾向にあり、製造品出荷額規模は平成20年で2,100億円と、前年に比べ1割以上減少した。

人口一人当たりの製造品出荷額等を周辺市と比較すると、上田、小諸、東御の各市のほか長野県平均よりもかなり低く、相対的に工業の集積力は弱いといえよう。

[ 工業指標の推移 ]

	工場数	従業者数(人)	製造品出荷額等 (万円)
平成12年	380	11,021	27,488,450
平成13年	360	10,603	27,133,149
平成14年	340	10,054	24,526,755
平成15年	352	10,067	24,701,568
平成16年	325	9,747	25,233,173
平成17年	326	9,723	23,179,363
平成18年	308	9,418	22,543,502
平成19年	309	9,596	24,118,048
平成20年	300	9,342	21,258,417

注: 従業者4人以上の事業所

資料: 工業統計調査

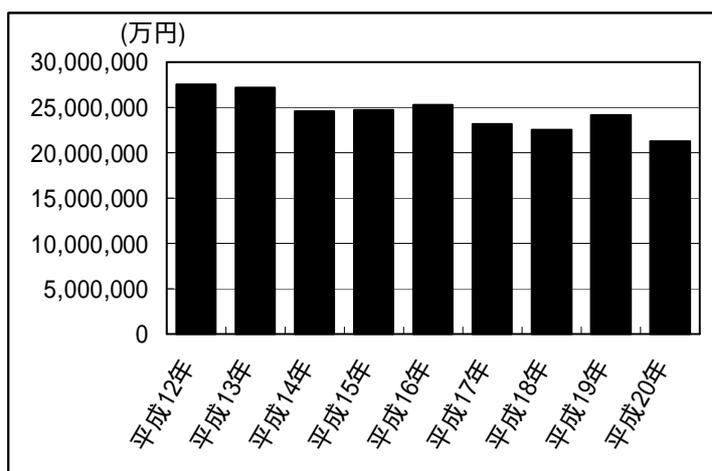
[ 人口当たり製造品出荷額等の比較 ]

	製造品出荷額等 (万円)	人口当たり製造品出荷額等 (万円)
長野県	662,402,159	304.8
上田市	54,797,618	339.9
小諸市	15,074,890	333.5
佐久市	21,258,417	212.8
東御市	11,930,685	383.2

資料: 平成20年工業統計

「長野県の人口」平成20年10月1日現在

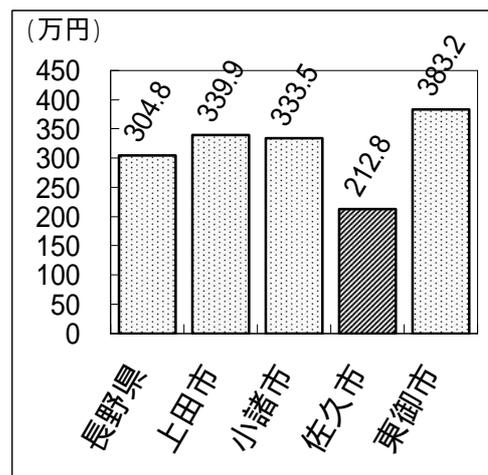
[ 製造品出荷額等の推移 ]



注: 従業者4人以上の事業所

資料: 工業統計調査

[ 人口当たり製造品出荷額等の比較 ]



資料: 平成20年工業統計

「長野県の人口」平成20年10月1日現在

工業の業種構成の特徴を、製造品出荷額等の業種別割合からみると、生産用機械、輸送用機械、食料品、電子部品、電気機器などの比重が高く、全体規模は小さいながらこれらの業種が佐久市工業を特徴づけているといえる。

また、製造品出荷額等の業種別割合を県平均、全国平均との比較によりみると、県や国に対する特化係数が高いのは、非鉄金属、パルプ・紙・紙加工品、輸送用機械、電気機器、生産用機械、食料品、プラスチックなどである。

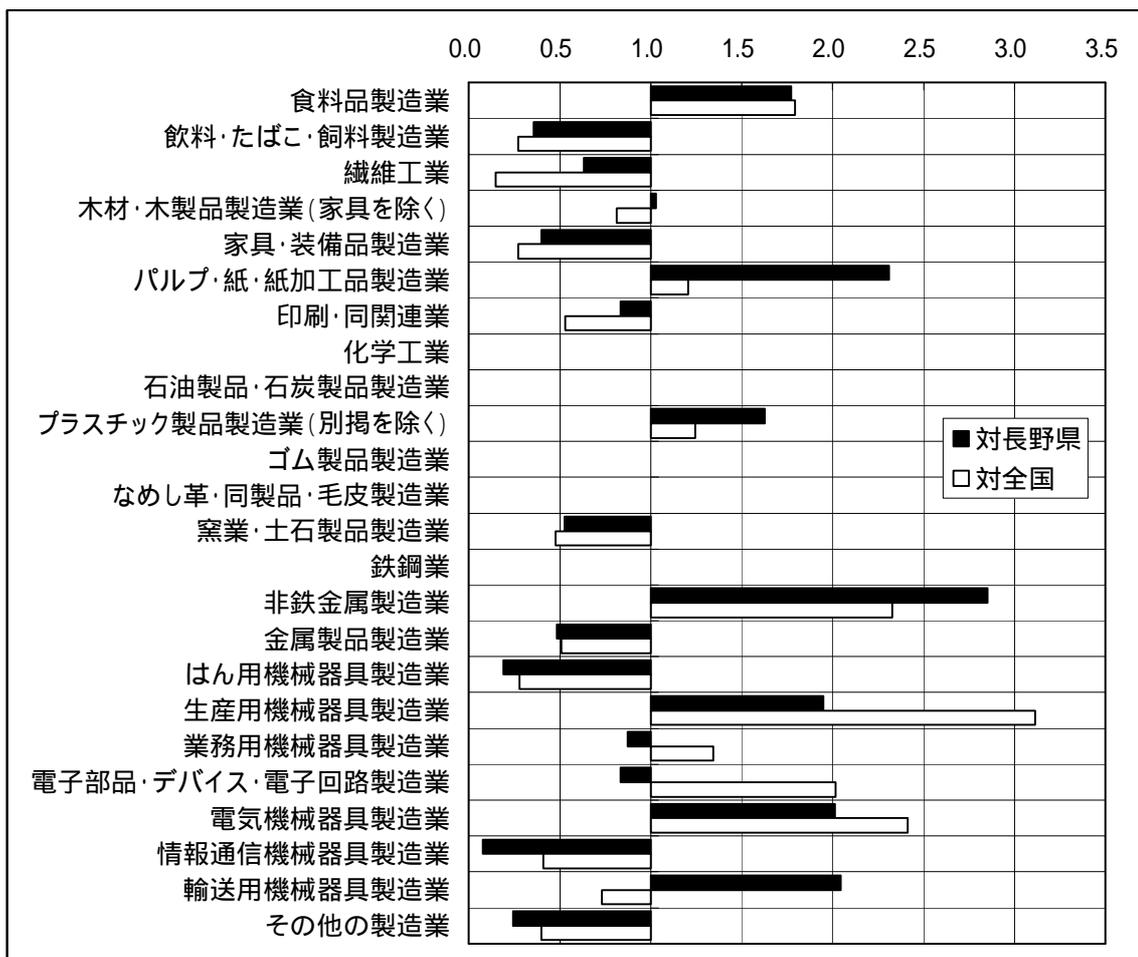
一方、工場従業者数の業種別構成でみると、出荷額とはやや異なる特徴を見せており、生産用機械、電子部品、電気機器、輸送用機械などの業種の従業者が比較的多く、これらは全国平均と比べてもその比重が高い。

[ 業種別製造品出荷額等の構成の比較 ]

	金額(万円)			構成比(%)			特化係数	
	佐久市	長野県	全国	佐久市	長野県	全国	対長野県	対全国
製造業計	21,258,417	6,624,022	335,578,825	100.00	100.00	100.00		
食料品製造業	2,833,575	497,857	24,941,562	13.33	7.52	7.43	1.77	1.79
飲料・たばこ・飼料製造業	169,771	149,004	9,911,531	0.80	2.25	2.95	0.36	0.27
繊維工業	44,066	21,677	4,687,733	0.21	0.33	1.40	0.63	0.15
木材・木製品製造業(家具を除く)	132,157	39,967	2,564,791	0.62	0.60	0.76	1.03	0.81
家具・装備品製造業	35,057	27,414	2,041,130	0.16	0.41	0.61	0.40	0.27
パルプ・紙・紙加工品製造業	595,118	80,258	7,794,836	2.80	1.21	2.32	2.31	1.21
印刷・同関連業	225,483	84,280	6,737,842	1.06	1.27	2.01	0.83	0.53
化学工業	X	110,457	28,130,703	X	1.67	8.38	X	X
石油製品・石炭製品製造業	X	7,986	14,006,133	X	0.12	4.17	X	X
プラスチック製品製造業(別掲を除く)	951,750	182,167	12,073,507	4.48	2.75	3.60	1.63	1.24
ゴム製品製造業	-	18,932	3,487,630	-	0.29	1.04	-	-
なめし革・同製品・毛皮製造業	X	7,395	469,133	X	0.11	0.14	X	X
窯業・土石製品製造業	246,158	146,102	8,174,731	1.16	2.21	2.44	0.52	0.48
鉄鋼業	-	65,777	24,332,178	-	0.99	7.25	-	-
非鉄金属製造業	1,545,853	168,972	10,479,652	7.27	2.55	3.12	2.85	2.33
金属製品製造業	488,133	314,551	15,149,270	2.30	4.75	4.51	0.48	0.51
はん用機械器具製造業	220,863	363,309	12,541,115	1.04	5.48	3.74	0.19	0.28
生産用機械器具製造業	3,771,907	603,372	19,132,918	17.74	9.11	5.70	1.95	3.11
業務用機械器具製造業	730,315	261,082	8,573,705	3.44	3.94	2.55	0.87	1.34
電子部品・デバイス・電子回路製造業	2,627,168	980,280	20,560,300	12.36	14.80	6.13	0.84	2.02
電気機械器具製造業	2,573,740	398,768	16,838,479	12.11	6.02	5.02	2.01	2.41
情報通信機械器具製造業	376,924	1,491,691	14,480,883	1.77	22.52	4.32	0.08	0.41
輸送用機械器具製造業	2,949,818	449,712	63,766,639	13.88	6.79	19.00	2.04	0.73
その他の製造業	118,721	153,013	4,702,425	0.56	2.31	1.40	0.24	0.40

資料:平成20年工業統計

[ 業種別製造品出荷額等の特化係数 ]



注) 従業者4人以上の事業所

資料:平成20年工業統計

[ 工業の業種別従業者数の推移 ]

(単位:人)

業種別	従業者数			
	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
総数	9,654	9,418	9,596	9,342
09 食料	740	716	737	753
10 飲料	162	159	159	115
11 繊維	-	-	-	128
12 木材	121	122	123	73
13 家具	92	92	91	47
14 紙・パルプ	57	57	47	191
15 印刷	182	203	204	245
16 化学	219	220	236	102
17 石油	99	105	123	10
18 プラスチック	12	11	10	638
19 ゴム	-	-	-	-
20 皮革	588	565	645	35
21 窯業	16	14	14	108
22 鉄鋼	-	-	-	-
23 非鉄	94	101	115	537
24 金属	213	212	205	317
25 はん用機械	287	301	341	176
26 生産用機械	1,498	1,813	1,819	1,329
27 業務用機械	1,778	1,431	1,340	408
28 電子	378	315	355	1,286
29 電気	1,537	1,509	1,474	1,083
30 情報	1,251	1,334	1,355	449
31 輸送	264	74	141	1,250
32 その他	66	64	62	62

注) 従業者4人以上の事業所

資料: 工業統計

[ 工業の業種別事業所数・従業者数の比較 ]

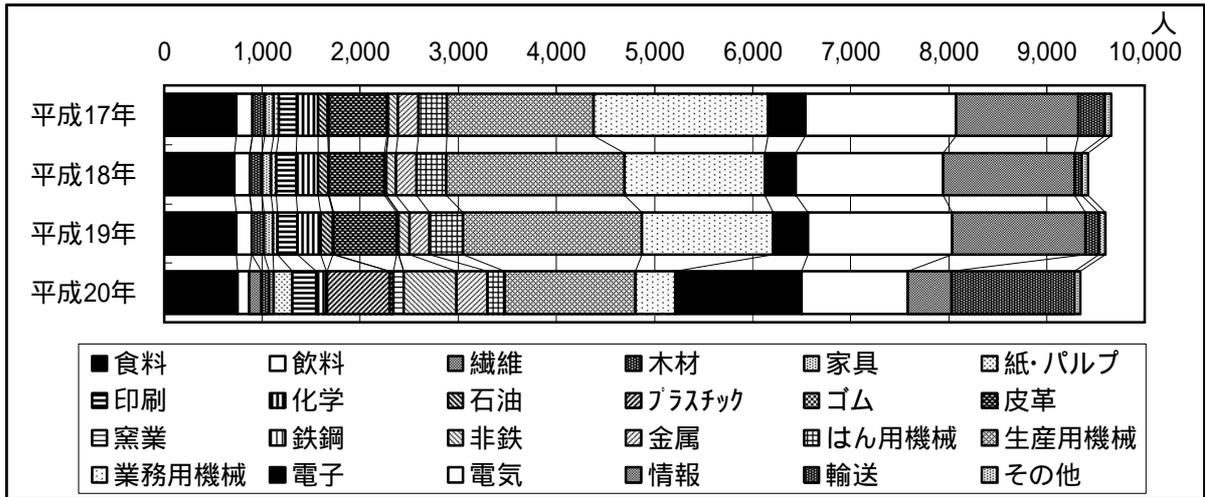
(単位: 所、人)

産業別	佐久市		長野県		全国	
	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数	事業所数	従業者数
総数	300	9,342	11095	224,098	263061	8,364,607
09 食料	30	753	1,190	23,930	33,162	1,138,327
10 飲料	11	115	155	3,303	4,868	107,376
11 繊維	5	128	309	2,583	19,847	347,720
12 木材	9	73	396	2,348	7,999	112,641
13 家具	6	47	671	2,599	8,570	118,724
14 紙・パルプ	9	191	167	2,494	7,391	204,994
15 印刷	11	245	667	6,540	16,484	326,476
16 化学	1	102	61	1,914	5,007	349,748
17 石油	2	10	34	201	984	24,676
18 プラスチック	29	638	562	9,964	16,107	454,316
19 ゴム			38	991	3,248	125,088
20 皮革	1	35	39	630	2,200	29,677
21 窯業	13	108	360	5666	12,864	280,263
22 鉄鋼			100	1661	4,934	235,300
23 非鉄	6	537	166	4,168	3,341	154,691
24 金属	15	317	1151	14,834	34,653	654,160
25 はん用機械	10	176	391	11,538	9,260	362,465
26 生産用機械	36	1,329	1544	23,087	23,972	613,130
27 業務用機械	8	408	563	11,677	5,437	243,075
28 電子	43	1,286	644	31,861	5,832	521,471
29 電気	20	1,083	587	17,702	11,447	511,670
30 情報	8	449	300	21,030	2,493	238,808
31 輸送	24	1,250	400	15,701	12,623	1,029,652
32 その他	3	62	600	7,676	10,338	180,159

注) 従業者4人以上の事業所

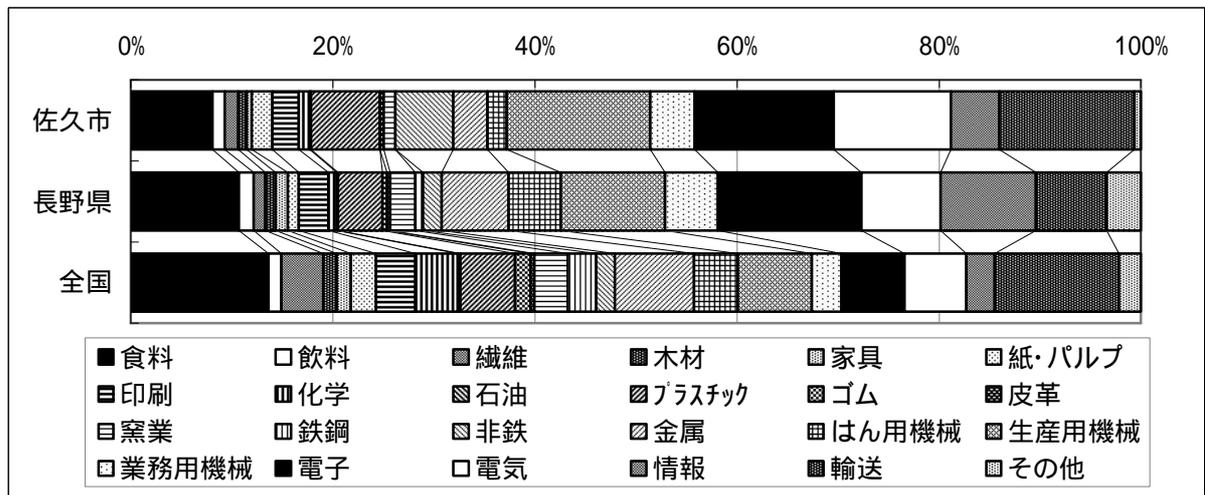
資料: 工業統計

[ 工業の業種別従業者数の推移 ]



資料:工業統計

[ 工業の業種別従業者数構成の比較 ]



資料:工業統計

#### 4) 商業の状況

佐久市の商業は、卸売業、小売業ともに商店数は減少しており、年間商品販売額も卸売業では減少度合いが著しい。小売業も変動があるが1,200億円規模を確保している。

卸売業と小売業を合わせた年間販売額の人口一人当たり水準は、上田市や小諸市、長野県の水準よりもかなり低い。小売業における同水準、及びその県平均に対する割合である小売業吸引力指数は、周辺市を上回る高水準である。

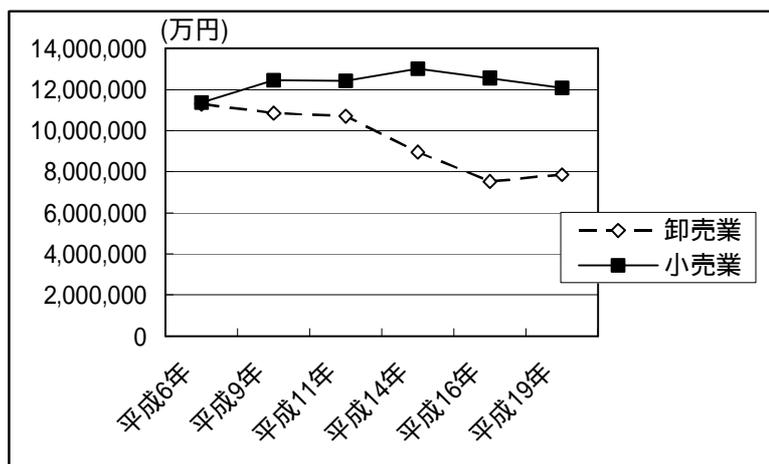
[ 商業指標の推移 ]

(単位:店,人,万円)

年	総数			卸売業			小売業		
	商店数	従業者数	年間商品販売額	商店数	従業者数	年間商品販売額	商店数	従業者数	年間商品販売額
平成6年	1,543	7,679	22,645,703	232	1,730	11,297,880	1,311	5,949	11,347,823
平成9年	1,468	7,572	23,304,077	228	1,562	10,859,081	1,240	6,010	12,444,996
平成11年	1,525	8,605	23,113,506	239	1,748	10,699,651	1,286	6,857	12,413,855
平成14年	1,416	9,029	21,961,997	218	1,759	8,951,249	1,198	7,270	13,010,748
平成16年	1,378	8,554	20,080,425	212	1,479	7,519,450	1,166	7,075	12,560,975
平成19年	1,287	8,164	19,940,549	207	1,383	7,864,639	1,080	6,781	12,075,910

資料:商業統計

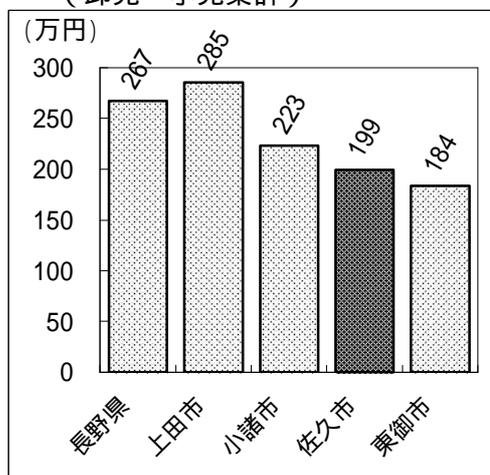
[ 年間商品販売額の推移 ]



資料:商業統計

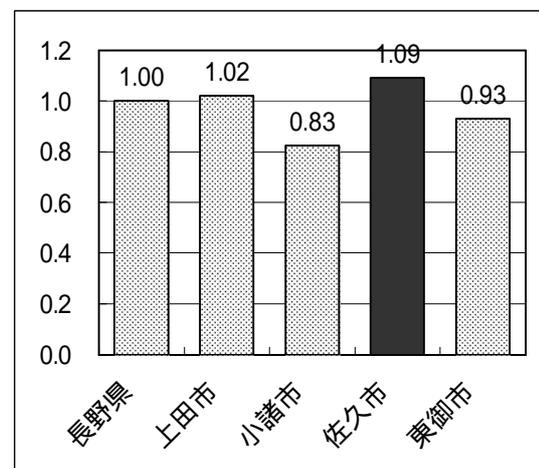
[ 人口一人当たり年間商品販売額 ]

(卸売・小売業計)



資料:平成19年商業統計  
「長野県の人口」H19年10月1日現在人口

[ 小売商業吸引力指数の比較 ]



資料:平成19年商業統計  
「長野県の人口」平成19年10月1日現在

[ 小売業吸引力指数の比較 ]

	年間小売業 商品販売額 (万円)	平成19年 人口 (人)	人口1人あたり 年間商品販売額 (万円)	小売吸引力 指数
長野県	240,210,087	2,182,190	110.08	1.00
上田市	18,243,798	162,260	112.44	1.02
小諸市	4,109,395	45,235	90.85	0.83
佐久市	12,031,783	100,116	120.18	1.09
東御市	3,197,837	31,245	102.35	0.93

小売吸引力指数：佐久市人口1人あたり年間小売販売額 / 長野県人口1人あたり年間小売販売額

資料：平成19年商業統計

統計「長野県の人口」平成19年10月1日現在人口

商業の販売額における業種別構成をみると、全体が減少傾向にある中で、特に飲食料品小売業や自動車・自転車小売業の減少幅が大きいようにみえる。

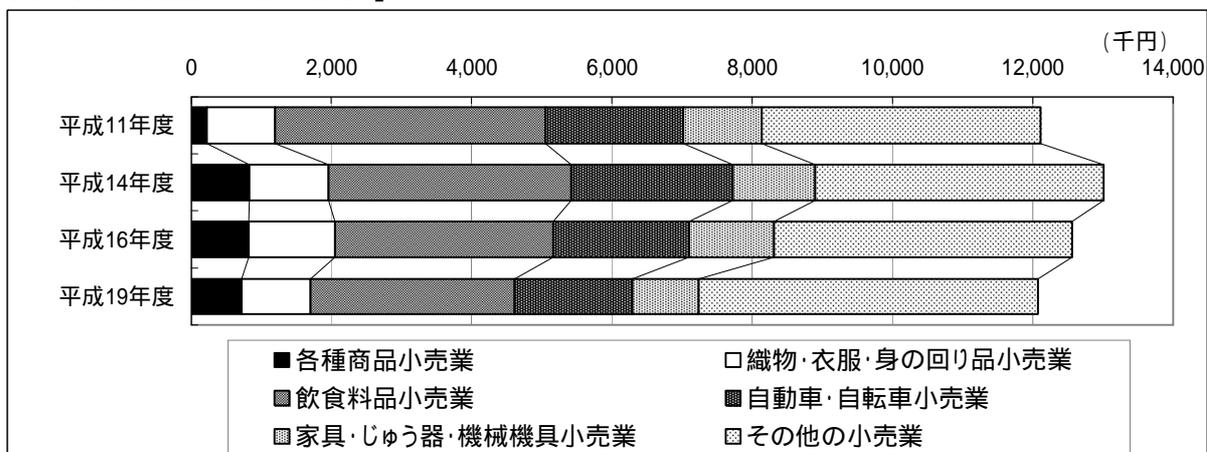
この小売業の業種構成は、県や全国平均に比べ、飲食料品小売業や各種商品小売業の割合が相対的に低く、その他の小売業の割合が高いという特徴がある。

[ 業種別年間商品販売額の推移 ]

	平成11年度	平成14年度	平成16年度	平成19年度
<b>総数</b>	<b>23,113,506</b>	<b>21,961,997</b>	<b>20,080,425</b>	<b>19,940,549</b>
卸売業計	10,699,651	8,951,249	7,519,450	7,864,639
各種商品卸売業	0	-	-	-
繊維・衣服等卸売業	0	X	X	18,447
飲食料品卸売業	4,027,627	X	2,396,441	2,016,674
建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	2,394,683	2,540,395	1,938,076	2,536,030
機械機具卸売業	2,276,967	2,126,699	1,899,505	2,221,805
その他の卸売業	1,306,098	X	X	1,071,683
小売業計	12,413,855	13,010,748	12,560,975	12,075,910
各種商品小売業	222,291	830,530	823,133	717,673
織物・衣服・身の回り品小売業	975,251	1,124,121	1,226,118	988,642
飲食料品小売業	3,854,292	3,461,815	3,114,886	2,902,753
自動車・自転車小売業	1,971,021	2,302,646	1,935,465	1,685,236
家具・じゅう器・機械機具小売業	1,110,009	1,177,533	1,212,348	948,639
その他の小売業	3,974,830	4,114,103	4,249,025	4,832,967

資料：商業統計

[ 業種別年間商品販売額の推移 ]



資料：商業統計

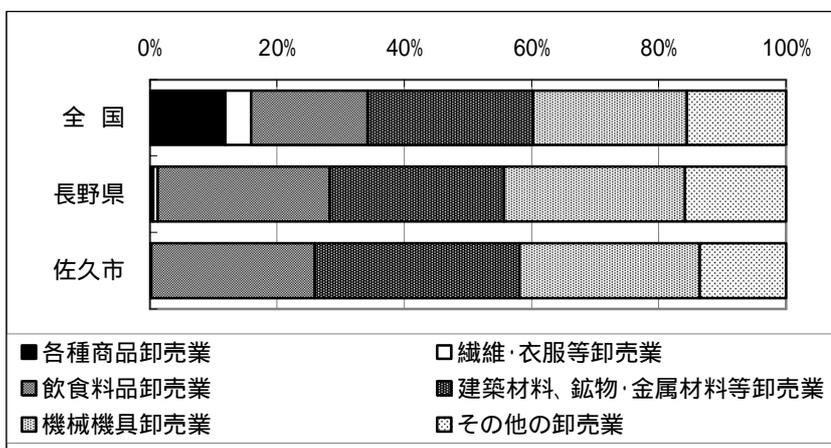
[ 商業の業種構成の比較 ]

平成19年	全国	長野県	佐久市	構成比		
				全国	長野県	佐久市
総計	548,237,119	5,832,187	19,940,549			
卸売業計	413,531,671	3,458,611	78,646	100.0	100.0	100.0
各種商品卸売業	49,042,472	17,985	-	11.9	0.5	-
繊維・衣服等卸売業	16,640,847	26,635	184	4.0	0.8	0.2
飲食料品卸売業	75,649,023	931,463	20,167	18.3	26.9	25.6
建築材料、鉱物・金属材料等卸売業	107,683,444	948,907	25,360	26.0	27.4	32.2
機械機具卸売業	99,893,908	981,670	22,218	24.2	28.4	28.3
その他の卸売業	64,621,977	551,951	10,717	15.6	16.0	13.6
小売業計	134,705,448	2,373,576	120,759	100.0	100.0	100.0
各種商品小売業	15,652,725	156,435	7,177	11.6	6.6	5.9
織物・衣服・身の回り品小売業	10,694,006	163,673	9,886	7.9	6.9	8.2
飲食料品小売業	40,813,293	696,942	29,028	30.3	29.4	24.0
自動車・自転車小売業	15,700,507	333,704	16,852	11.7	14.1	14.0
家具・じゅう器・機械機具小売業	11,484,657	183,002	9,486	8.5	7.7	7.9
その他の小売業	40,360,259	839,820	48,330	30.0	35.4	40.0

資料: 商業統計調査

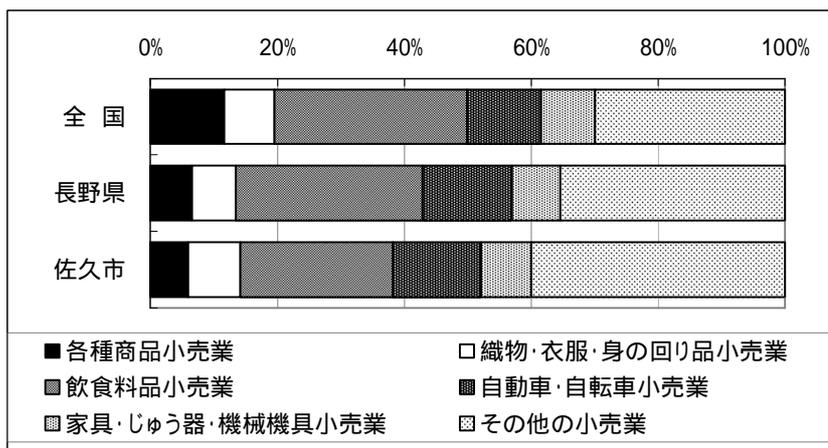
[ 商業の業種構成の比較 ]

業種別年間商品販売額(卸売業)



資料: 商業統計

業種別年間商品販売額(小売業)



資料: 商業統計

市内には店舗面積 1,000 m<sup>2</sup>以上の大規模小売店舗が平成 22 年 5 月現在で 26 店ある。長野新幹線が開通した前後以降から、特に市北部の佐久平駅周辺等に多くの大型店が立地した。この結果、大規模小売店舗数は県内 23 市中で 6 位、売場面積は 4 位となっている。

市内に立地する大規模小売店舗は、県や全国の大規模店の状況と比較して、店舗面積 3,000 m<sup>2</sup>以上の店舗が多いこと、専門店業態の店舗が多いこと、郊外幹線道路沿い型の立地特性のものが多いこと、等の特徴が見られる。

[ 長野県内各市の大規模小売店舗の状況 ]

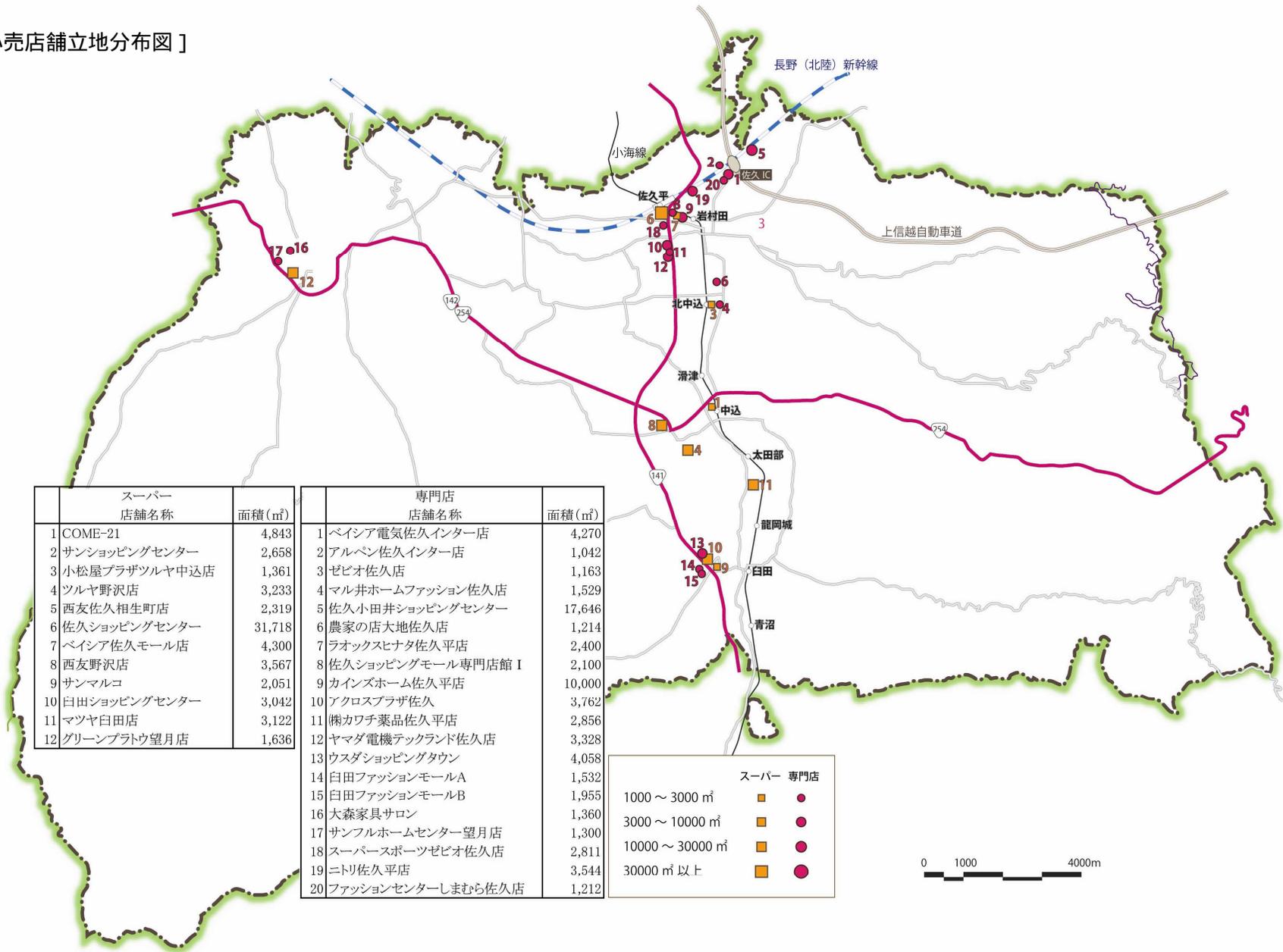
	店舗数		店舗面積 (m <sup>2</sup> )	
	既存店	新設予定店	既存店	新設予定店
長野県	460	12	1,828,534	63,634
長野市	88	2	314,853	8,212
松本市	53	1	251,274	2,158
上田市	47	4	165,909	38,477
岡谷市	11	2	53,396	6,773
飯田市	27	0	92,855	0
諏訪市	14	2	53,778	5,771
須坂市	12	0	40,332	0
小諸市	10	0	33,449	0
伊那市	14	0	52,242	0
駒ヶ根市	10	0	34,552	0
中野市	11	0	48,783	0
大町市	5	0	24,083	0
飯山市	7	0	25,072	0
茅野市	10	0	57,572	0
塩尻市	12	1	50,413	2,243
佐久市	26	0	121,096	0
千曲市	12	0	37,514	0
東御市	7	0	20,393	0
安曇野市	25	0	101,314	0
佐久穂町	3	0	10,182	0
軽井沢町	6	0	43,360	0
御代田町	2	0	4,914	0
立科町	2	0	3,369	0

全国	19,428	431	98,438,513	2,196,234
----	--------	-----	------------	-----------

2010.5月現在

資料: 全国大型小売店総覧(東洋経済)より

[ 大規模小売店舗立地分布図 ]



[ 大規模小売店舗の内訳の県・全国との比較 ]

開設年次別店舗数(既存店)

		計	1991以前	1992～ 1999	2000～ 2004	2005～ 2010
店舗数	佐久市	26	4	14	5	3
	長野県	460	139	182	71	59
	全国	19428	6800	6036	2979	3377
構成比 (%)	佐久市	100.0	15.4	53.8	19.2	11.5
	長野県	100.0	30.2	39.6	15.4	12.8
	全国	100.0	35.0	31.1	15.3	17.4

店舗面積規模別店舗数(既存店)

		計	1000超 2000未満	2000以上 3000未満	3000以上 5000未満	5000以上 10000未満	10000以上
店舗数	佐久市	26	9	4	10	1	2
	長野県	460	164	106	86	68	36
	全国	19428	7240	3969	3192	2733	2294
構成比 (%)	佐久市	100.0	34.6	15.4	38.5	3.8	7.7
	長野県	100.0	35.7	23.0	18.7	14.8	7.8
	全国	100.0	37.3	20.4	16.4	14.1	11.8

業態別店舗数(既存店)

		計	百貨店	スーパー	ホーム センター	専門店	SC	寄合百貨店	小売市場	その他
店舗数	佐久市	26	0	7	1	14	2	1	0	1
	長野県	460	4	214	51	153	6	20	0	12
	全国	19428	298	8504	2125	5960	582	1306	113	540
構成比 (%)	佐久市	100.0	0.0	26.9	3.8	53.8	7.7	3.8	0.0	3.8
	長野県	100.0	0.9	46.5	11.1	33.3	1.3	4.3	0.0	2.6
	全国	100.0	1.5	43.8	10.9	30.7	3.0	6.7	0.6	2.8

立地形態別店舗数(既存店)

		計	ターミナル型	駅前・ 駅近辺型	商店街型	郊外住宅型	郊外幹線 道路沿型	その他
店舗数	佐久市	26		5		3	16	2
	長野県	460	2	34	30	86	234	74
	全国	19428	307	2531	1563	4453	6602	3972
構成比 (%)	佐久市	100.0	0.0	19.2	0.0	11.5	61.5	7.7
	長野県	100.0	0.4	7.4	6.5	18.7	50.9	16.1
	全国	100.0	1.6	13.0	8.0	22.9	34.0	20.4

広域的な商圈構造は、特に文化品や贈答品などの非日常性の高い品目において、旧佐久市への周囲からの買い物出向の割合が高く、南佐久郡の各町村のほか小諸市や軽井沢町等からの流入も見られる。逆に、市内から小諸市や上田市等への購買力の流出はほとんど見られない。

〔 買物出向率 〕

衣料品

(単位:%)

居住地\買物先	佐久市(合併前)	白田町	望月町	浅科村	長野市	松本市	上田市	小諸市	茅野市	軽井沢町	御代田町	立科町	東部町(東御市)
佐久市(合併前)	90.0	3.8			0.1		0.1	0.5	0.1	1.0		0.1	
白田町	49.7	38.9			0.7		0.7			0.7			
望月町	80.2		1.0					1.0					
浅科村	89.3	7.6						0.8					
長野市													
松本市													
上田市	1.4												
小諸市	75.0												
茅野市													
軽井沢町	62.8												
御代田町	87.2												
立科町	55.7												
東部町(東御市)	15.6												
真田町(上田市)	1.5												
坂城町	1.9												
佐久町(佐久穂町)	71.3	21.3											
南相木村	76.5	23.5											
南牧村	58.5	22.0											
川上村	58.3	15.6											
八千穂村(佐久穂町)	57.0	35.5											
小海町	51.2	41.9											
北御牧村(東御市)	47.8	1.1											
和田村(長和町)	6.1												
長門町(長和町)	4.1												
丸子町(上田市)	3.6												
北相木村		100.0											

身の回り品

(単位:%)

居住地\買物先	佐久市(合併前)	白田町	望月町	浅科村	長野市	松本市	上田市	小諸市	茅野市	軽井沢町	御代田町	立科町	東部町(東御市)
佐久市(合併前)	82.2	0.9			0.4	0.2	0.4	0.2		2.1	0.2		
白田町	40.9	29.5			1.1	1.1				2.3			
望月町	78.2		1.8		1.8								
浅科村	80.3	3.9						1.3		1.3			
長野市													
松本市													
上田市	0.3												
小諸市	70.6												
茅野市													
軽井沢町	56.3												
御代田町	72.1												
立科町	53.5		1.4										
東部町(東御市)	19.1												
真田町(上田市)	2.7												
坂城町													
佐久町(佐久穂町)	69.7	3.0											
南相木村	58.3												
南牧村	47.9	8.5											
川上村	59.3	3.4											
八千穂村(佐久穂町)	63.9	13.1											
小海町	52.0	16.0											
北御牧村(東御市)	59.3												
和田村(長和町)	6.3												
長門町(長和町)	4.8												
丸子町(上田市)	3.7												
北相木村	100.0												
武石村(上田市)													

文化品

(単位: %)

居住地\買物先	佐久市(合併前)	白田町	望月町	浅科村	長野市	松本市	上田市	小諸市	茅野市	軽井沢町	御代田町	立科町	東部町(東御市)
佐久市(合併前)	96.0	0.4	0.1		0.3		0.1	0.4		0.6			
白田町	92.8	3.9					0.6		0.6				
望月町	93.6		3.7		1.8		0.9						
浅科村	92.9			0.6				4.5					
長野市													
松本市													
上田市	1.7												
小諸市	76.6			0.3									
茅野市													
軽井沢町	80.1												
御代田町	90.6												
立科町	79.1			0.7									
東部町(東御市)	20.7												
真田町(上田市)	3.9												
坂城町	1.2												
佐久町(佐久穂町)	91.7	2.3											
南相木村	78.9												
南牧村	88.6	2.4											
川上村	91.0												
八千穂村(佐久穂町)	91.7	1.7											
小海町	85.6	3.1											
北御牧村(東御市)	64.2			0.9									
和田村(長和町)	11.4												
長門町(長和町)	9.5												
丸子町(上田市)	7.5												
北相木村	100.0												
武石村(上田市)	2.2												

飲食料品

(単位: %)

居住地\買物先	佐久市(合併前)	白田町	望月町	浅科村	長野市	松本市	上田市	小諸市	茅野市	軽井沢町	御代田町	立科町	東部町(東御市)
佐久市(合併前)	92.0	1.9	0.6					1.2			1.2		
白田町	11.7	83.8						1.7					
望月町	30.8		56.4										5.1
浅科村	84.9		1.9					13.2					
長野市													
松本市													
上田市													
小諸市	6.5												
茅野市													
軽井沢町	10.7												
御代田町	11.2												
立科町	5.8		1.9										
東部町(東御市)													
真田町(上田市)													
坂城町													
佐久町(佐久穂町)	15.9	4.5											
南相木村	25.0												
南牧村	20.8	8.3											
川上村	5.0	7.5											
八千穂村(佐久穂町)	4.5	4.5											
小海町	14.3	5.7											
北御牧村(東御市)													
和田村(長和町)													
長門町(長和町)													
丸子町(上田市)	0.6												
北相木村													
武石村(上田市)													

日用品

(単位: %)

居住地\買物先	佐久市(合併前)	白田町	望月町	浅科村	長野市	松本市	上田市	小諸市	茅野市	軽井沢町	御代田町	立科町	東部町(東御市)
佐久市(合併前)	95.7	2.2	0.3								0.3		
白田町	23.0	70.5											
望月町	67.5		15.0										
浅科村	98.1							1.9					
長野市													
松本市													
上田市	0.2												
小諸市	28.7												
茅野市													
軽井沢町	17.6												
御代田町	53.3												
立科町	7.8												
東部町(東御市)	0.9												
真田町(上田市)													
坂城町													
佐久町(佐久穂町)	23.3	9.3											
南相木村	37.5												
南牧村	42.9	4.1											
川上村	35.0												
八千穂村(佐久穂町)	20.5	6.8											
小海町	20.0	2.9											
北御牧村(東御市)	18.9												
和田村(長和町)	3.2												
長門町(長和町)													
丸子町(上田市)	1.7												
北相木村													
武石村(上田市)													

その他(贈答品)

(単位:%)

居住地\買物先	佐久市(合併前)	白田町	望月町	浅科村	長野市	松本市	上田市	小諸市	茅野市	軽井沢町	御代田町	立科町	東部町(東御市)
佐久市(合併前)	86.7				1.3			2.0		0.7			
白田町	63.3	23.3											
望月町	76.5				5.9								
浅科村	95.8						11.8						
長野市													
松本市													
上田市													
小諸市	64.4												
茅野市													
軽井沢町	54.8												
御代田町	78.0												
立科町	63.6		4.5										
東部町(東御市)	13.0												
真田町(上田市)	3.8												
坂城町													
佐久町(佐久穂町)	81.8												
南相木村	75.0												
南牧村	52.2	4.3											
川上村	47.4												
八千穂村(佐久穂町)	42.9	4.8											
小海町	62.5	6.3											
北御牧村(東御市)	29.4												
和田村(長和町)	13.3												
長門町(長和町)													
丸子町(上田市)	2.3												
北相木村													
武石村(上田市)													

合計

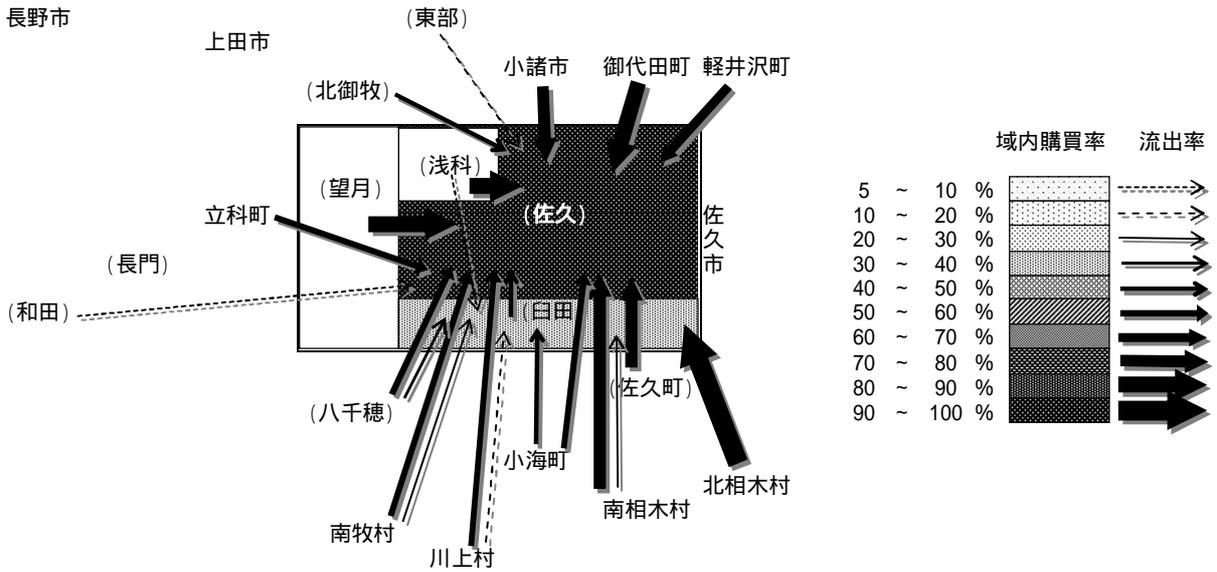
(単位:%)

居住地\買物先	佐久市(合併前)	白田町	望月町	浅科村	長野市	松本市	上田市	小諸市	茅野市	軽井沢町	御代田町	立科町	東部町(東御市)
佐久市(合併前)	91.3	1.7	0.1		0.3	0.0	0.1	0.5	0.0	0.8	0.2	0.0	
白田町	55.8	33.6			0.4	0.2	0.4	0.2	0.2	0.5			
望月町	77.0		9.6		1.1		0.3	0.8					0.6
浅科村	89.9	2.6	0.2	0.2				3.4		0.2			
長野市													
松本市													
上田市	1.0												
小諸市	61.9			0.1									
茅野市													
軽井沢町	55.9												
御代田町	73.4												
立科町	51.8		0.7	0.2									
東部町(東御市)	14.2												
真田町(上田市)	2.2												
坂城町	0.9												
佐久町(佐久穂町)	67.2	8.2											
南相木村	63.2	5.9											
南牧村	59.0	9.8											
川上村	58.5	5.6											
八千穂村(佐久穂町)	57.9	13.6											
小海町	54.9	16.0											
北御牧村(東御市)	45.5	0.3		0.3									
和田村(長和町)	7.1												
長門町(長和町)	4.8												
丸子町(上田市)	4.2												
北相木村	47.4	26.3											
武石村(上田市)	0.7												

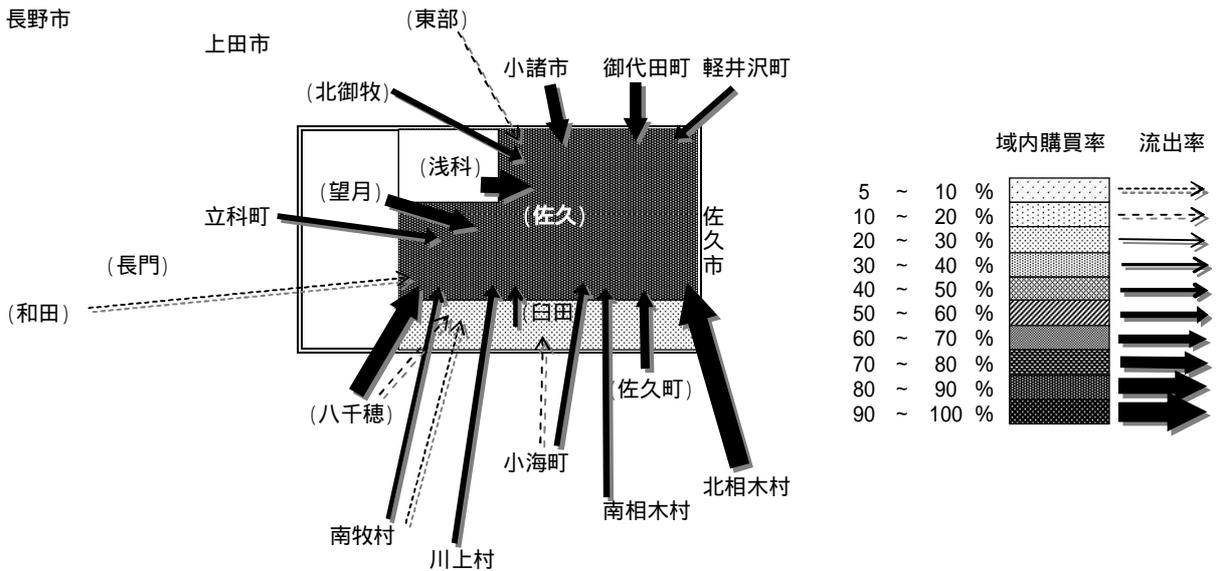
平成 21 年度長野県商圈調査結果 (調査期間:平成 21 年 6 月 5 日(金)~平成 21 年 6 月 23 日(火))

〔買物出向率〕

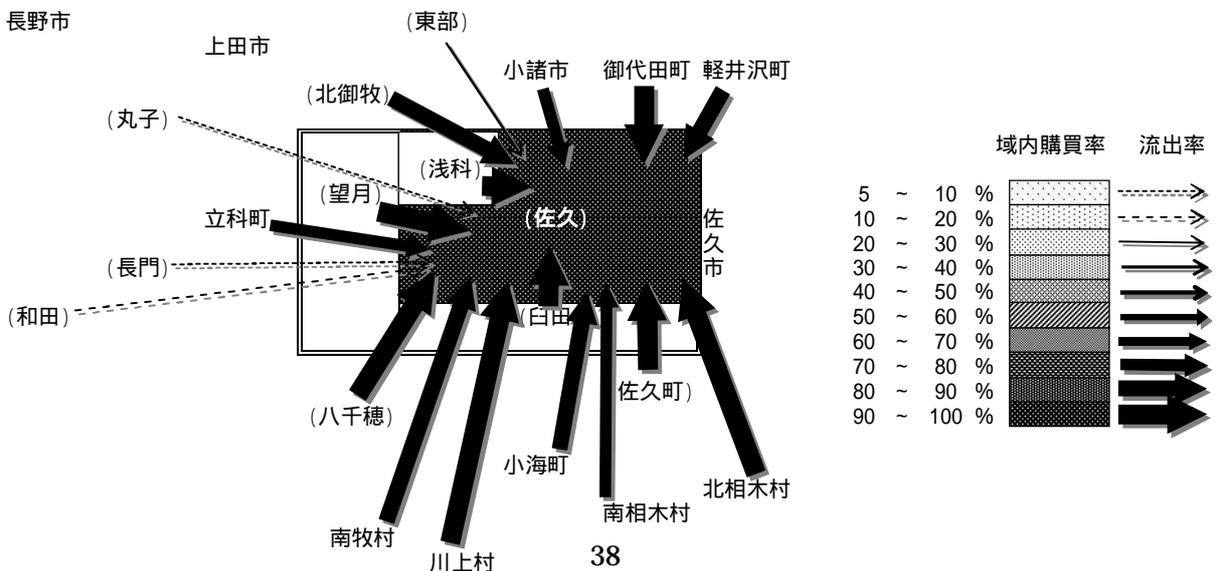
品目 衣料品



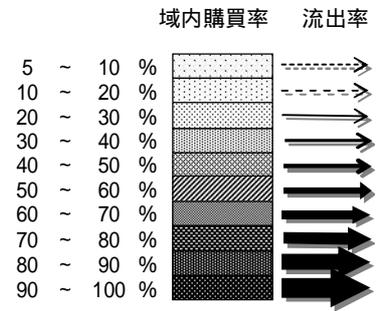
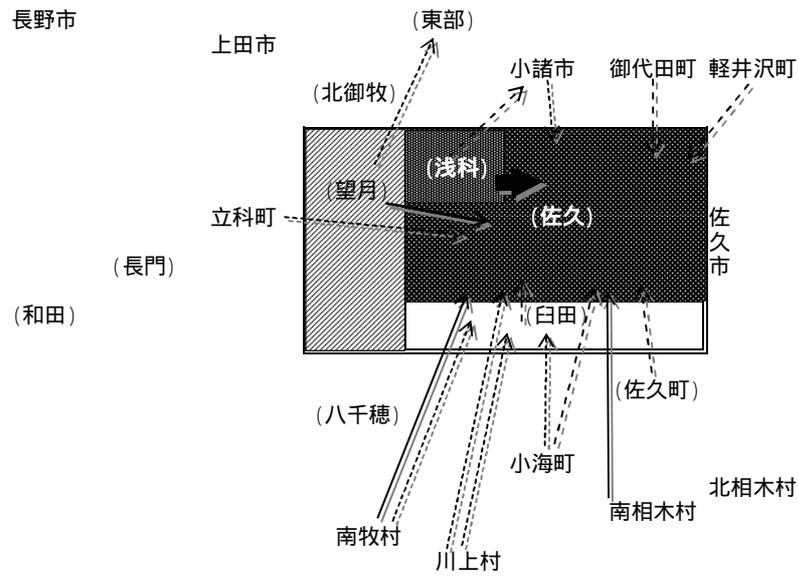
品目 身の回り品



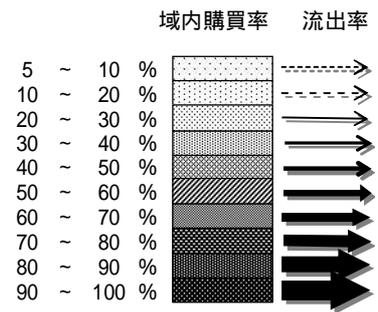
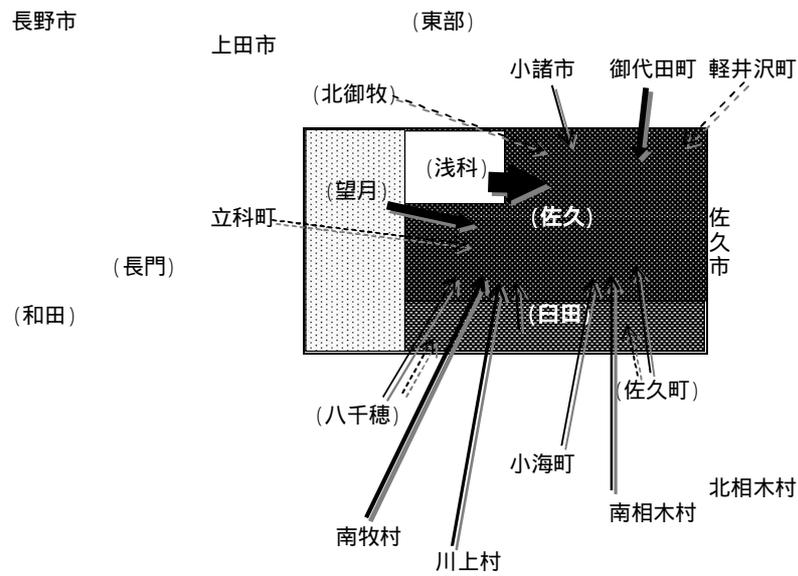
品目 文化品



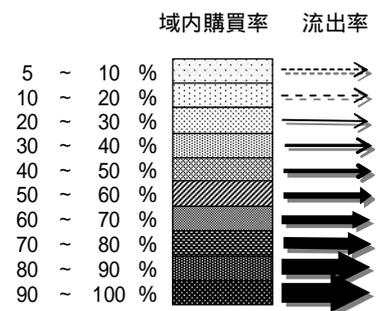
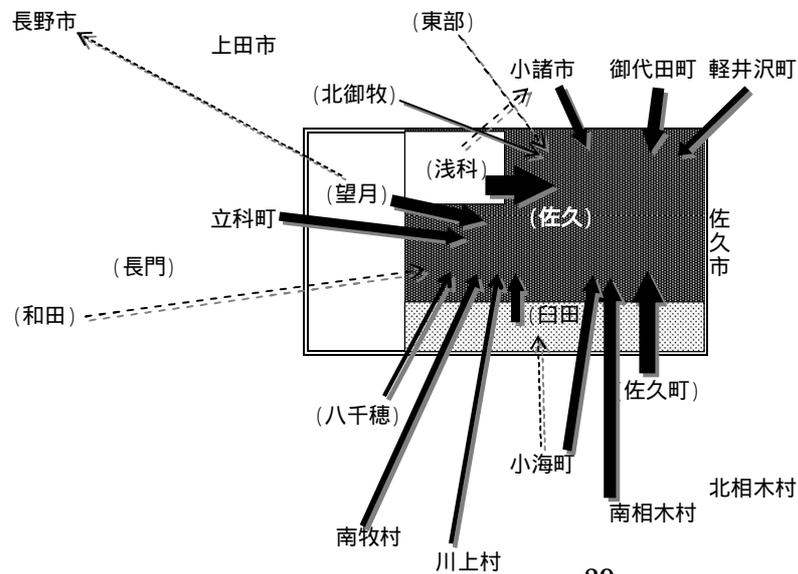
品目 飲食料品



品目 日用品

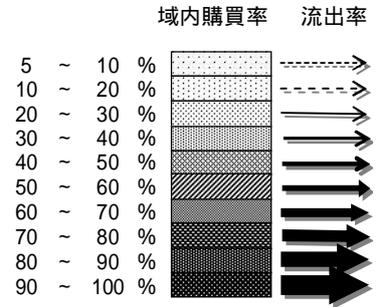
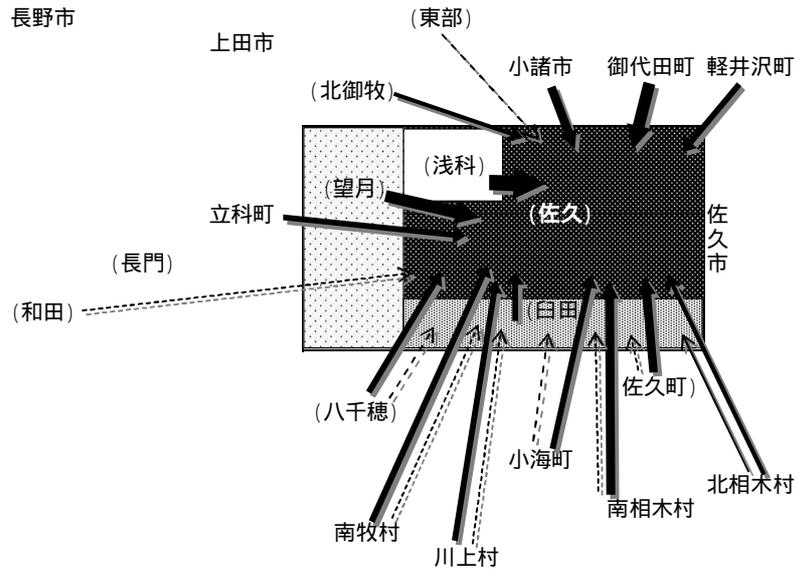


品目 その他(贈答品)



品目	合計
----	----

長野市



## 5) 観光の状況

市内には多くの観光資源があるが、その利用者数は年間延べ 169 万人前後で近年はほぼ横ばい傾向で推移している。県内客と県外客はほぼ半数ずつであり、特に多くの利用者を集めるのは佐久平、平尾山公園などである。

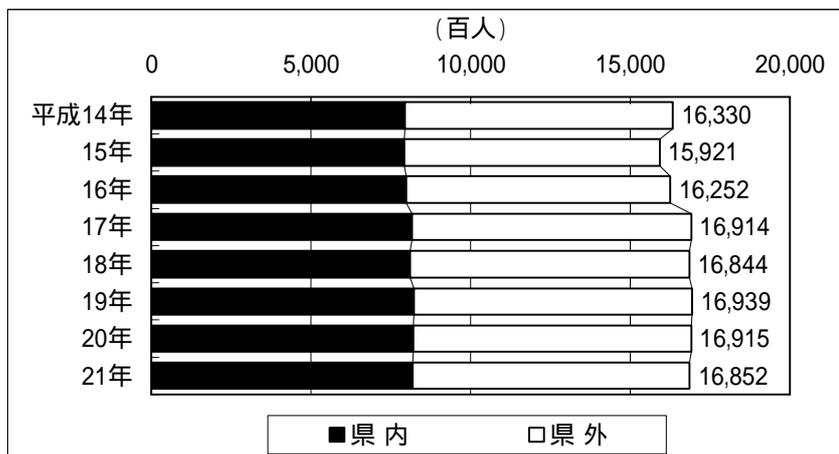
### [ 市内観光地利用者数 ]

単位:百人

年	利用者延数	前年比	県内	県外
平成14年	16,330		7,935	8,395
15年	15,921	97.5%	7,926	7,995
16年	16,252	102.1%	7,974	8,278
17年	16,914	104.1%	8,161	8,753
18年	16,844	99.6%	8,107	8,737
19年	16,939	100.6%	8,219	8,720
20年	16,915	99.9%	8,206	8,709
21年	16,852	99.6%	8,179	8,673

資料:観光地利用者統計調査結果

### [ 市内観光地利用者数 ]



資料:観光地利用者統計調査結果

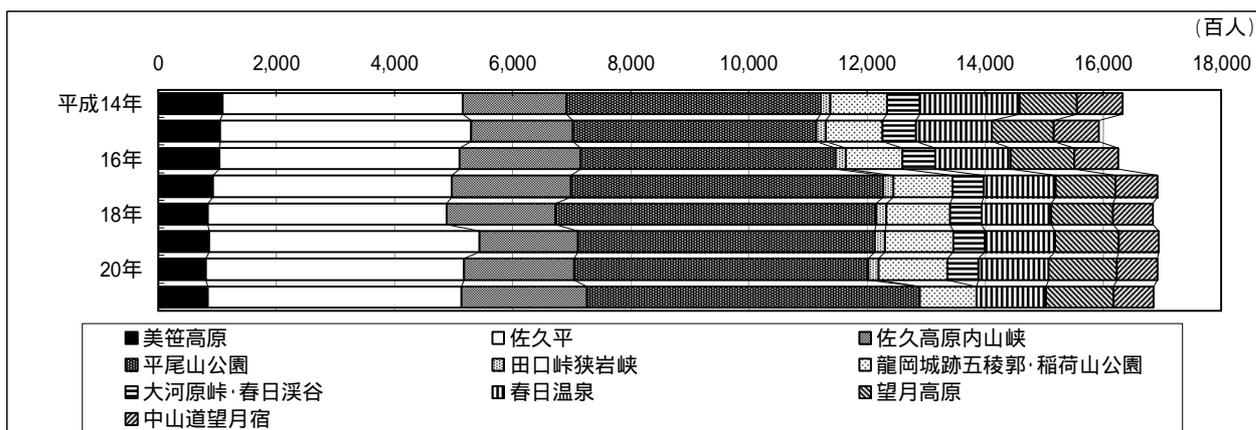
### [ 市内観光地別利用者延数 ]

単位:百人

	美笹高原	佐久平	佐久高原 内山峡	平尾山公園	田口峠 狭岩峡	龍岡城跡 五稜郭 稲荷山公園	大河原峠 春日溪谷	春日温泉	望月高原	中山道 望月宿
平成14年	1,093	4,064	1,758	4,298	168	959	556	1,688	973	773
15年	1,056	4,244	1,725	4,121	163	959	559	1,287	1,052	755
16年	1,043	4,061	2,052	4,316	170	960	559	1,269	1,084	738
17年	927	4,044	2,025	5,280	173	1,000	530	1,214	1,019	702
18年	841	4,043	1,844	5,429	170	1,081	530	1,187	1,036	683
19年	865	4,582	1,662	5,031	170	1,156	530	1,182	1,088	673
20年	813	4,373	1,861	4,978	168	1,168	530	1,182	1,164	678
21年	842	4,297	2,120	5,641	-	957	-	1,180	1,141	674

資料:観光地利用者統計調査結果

[ 市内観光地別利用者延数 ]



注: 平成21年度より田口峠狭岩峡及び大河原峠春日溪谷の地点での調査は実施されていない。

資料: 観光地利用者統計調査結果

# 財政状況

## 1) 財政状況

財政の各指標を県内の都市比較（平成 20 年度）によりみると、財政規模は歳出総額で約 487 億円  
で、人口一人当たりの財政規模は約 49 万円となり、県内の 23 市中では 3 位の水準である。

経常収支比率は 23 市中で値が低く、財政は比較的弾力的であるといえる。ただし、財政力指数は  
平成 20 年度で 0.58 と、県内の市の中では中位である。経常一般財源等比率は他市と並ぶ水準で、  
一般財源にそれほど大きな余裕はなく、公債費負担比率 19.5% もその状況を表している。

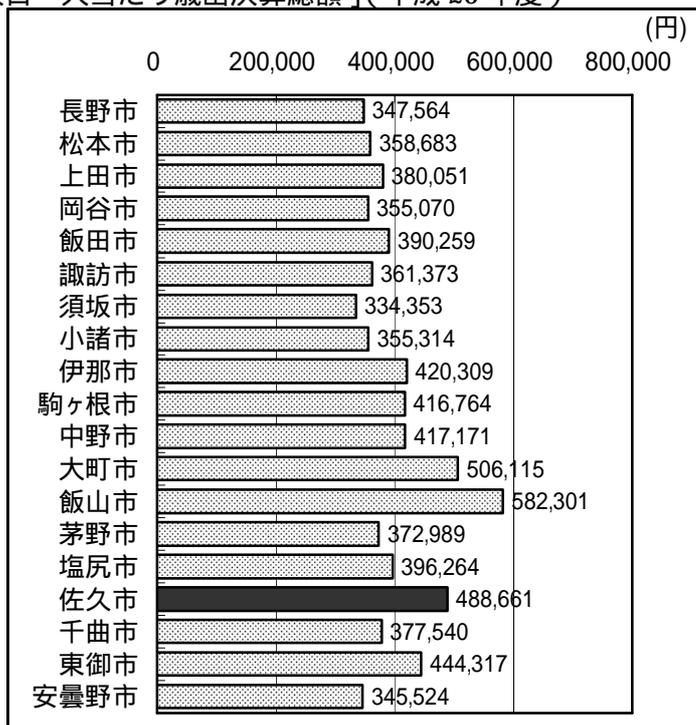
[ 財政指標の県内都市比較 ] (平成 20 年度)

平成20年度	歳出決算総額 (千円)	経常収支比率		財政力指数	実質収支比率 (%)	経常一般 財源等比率 (%)	公債費 負担比率 (%)	人口1人当たり 歳出決算総額 (円)
		(%)	同B* (%)					
長野市	131,339,898	90.0	93.1	0.74	2.2	97.7	21.4	347,564
松本市	80,076,495	87.1	90.5	0.77	2.6	95.2	18.9	358,683
上田市	60,881,191	89.9	93.4	0.66	5.9	95.9	18.2	380,051
岡谷市	19,064,072	88.3	91.8	0.74	5.7	96.0	19.7	355,070
飯田市	41,376,792	89.3	92.5	0.59	3.1	96.3	16.7	390,259
諏訪市	18,516,395	94.3	98.1	0.84	7.1	95.7	16.3	361,373
須坂市	17,709,327	90.1	93.5	0.55	4.5	96.6	15.0	334,353
小諸市	15,650,503	87.1	90.5	0.60	5.5	95.8	12.7	355,314
伊那市	29,715,461	94.5	98.2	0.55	4.0	96.1	21.9	420,309
駒ヶ根市	14,173,303	86.5	90.3	0.66	3.1	96.2	20.3	416,764
中野市	19,697,977	87.4	90.7	0.55	2.1	94.9	16.1	417,171
大町市	15,547,838	91.3	94.7	0.49	3.9	95.6	23.2	506,115
飯山市	14,402,641	93.6	96.4	0.32	5.7	96.7	21.0	582,301
茅野市	20,918,344	89.8	92.8	0.72	4.5	96.3	17.5	372,989
塩尻市	26,575,829	90.4	93.9	0.67	1.5	96.7	17.5	396,264
佐久市	48,699,470	83.9	87.3	0.58	3.2	95.8	19.5	488,661
千曲市	23,843,552	94.8	99.1	0.63	1.3	93.8	17.1	377,540
東御市	13,881,806	92.4	96.0	0.52	4.5	94.3	15.0	444,317
安曇野市	33,706,525	87.3	91.2	0.66	0.4	95.2	18.2	345,524

注) 経常収支比率Bは、減収補てん債(特例分)及び臨時財政対策債除く値

資料: 総務省市町村決算カード

[ 人口一人当たり歳出決算総額 ] (平成 20 年度)



資料: 総務省市町村決算カード

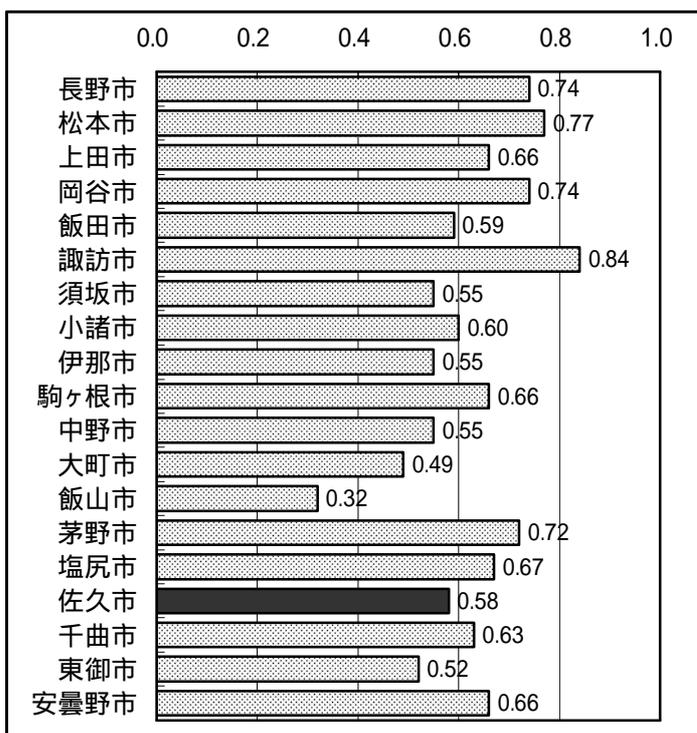
[ 佐久市財政指標の推移 ]

	歳出決算総額 (千円)	経常収支比率		財政力指数	実質収支比率 (%)	経常一般 財源等比率 (%)	公債費 負担比率 (%)
		(%)	同B* (%)				
17年度	41,416,594	79.9	84.4	0.50	2.9	103.2	17.6
18年度	39,536,200	80.1	84.3	0.53	3.0	98.2	18.8
19年度	40,525,824	83.4	87.1	0.56	3.2	96.5	17.6
20年度	48,699,470	83.9	87.3	0.58	3.2	95.8	19.5

注) 経常収支比率Bは、減収補てん債(特例分)及び臨時財政対策債除く値

資料: 総務省市町村決算カード(各年)

[ 財政力指数の県内都市比較 ](平成 20 年度)



資料: 総務省市町村決算カード

[ 市町村税決算額の県内都市比較 ](平成 20 年度)

	市町村税 決算額(億円)	人口一人あたり 市町村税(円)
長野市	609	161,112
上田市	229	143,109
小諸市	57	129,142
東御市	43	138,376
佐久市	131	130,948

資料: 平成 20 年度市町村財政概要